

大阪消防



特集 消防局職場活性化推進事例発表会

令和4年度消防局運営方針について／正機関員への道／教育の視点
これが大阪市消防局の化学災害救助隊だ／ザ安全管理／コマンドアイ
救急いろいろ／防災サプリ／突撃取材!ウチはこんな訓練やってます!
調査鑑識／We are Rookies!／震災対策一丁目一番地／アニマル環状線
消防職員意見発表会／功績表彰(敏動)／なんやねん、パソコン～!!
今月の推しの一枚／高圧ガスの移動について／女性防火クラブだより

災害概況／大阪の消防 NEWS／自衛消防隊紹介
九条みなみの昇任試験問題研究所
救急安心センターおおさかだより
こんな声届いています／局長メッセージ／編集後記

令和4年

5 No.866
月号

食べて遊んで癒されて、
極楽の殿堂ここにあり！

12F Bee RUSH 難波

11F～5F サウナ&カプセルアムザ
至高の快眠設備！本格派サウナ

展望露天風呂、美泡『萬の湯』

4F スシロー(西日本最大 236席)

3F カラオケ BIGECHO・赤から

・さんばち屋・チキチキチキン

2F サイゼリア・カ丸・びっくりドンキー

1F 炭焼笑店陽・水炊きからあげ鳥吾郎

大東洋 なんば店 B1 CLUB-D

なんば千日前の
『アムザ 1000』

笑って
見送れ
最終電車！

団体割引適用で割安！

※③を除きます

～消防人生をずっと補償～

いざという時のために！

一般財団法人全国消防協会 職員福利厚生事業

消防職員・消防退職者 そのための 保険

団体割引適用

1 30%

消防職員傷害保険

傷害総合保険

募集時期■7月～8月 2月～3月 2月～4月(新採用プラン)

団体割引適用

2 30%

消防職員医療保険

医療保険基本特約・疾病保険特約・
傷害保険特約セット 団体総合保険

年間保険料

3 4,000円

救命救急士の
専門業務も補償！

消防職員賠償責任保険

公務員賠償責任保険（消防職員危険担保
特約条項、初期対応費用担保特約条項、迷惑行為
が被害対応費用担保特約条項等付帯）

募集時期■1月～2月 7月～8月

団体総合生活保険（がん補償）

団体割引

20%

4 消防職員がん保険

団体総合生活保険（がん補償）

募集時期■1月～2月

5 消防職員介護保険

団体総合生活保険（介護補償）

募集時期■1月～2月

団体割引

20%

6 消防退職者医療保険

団体総合生活保険（医療補償）

募集時期■1月～2月

約40%
※割引・損害率による割引適用

こちらは概要のご案内です。各保険の詳細については、パンフレットをご参照ください。取扱商品、各保険の名称や補償内容等は引受保険会社によって異なりますので、ご加入にあたっては、必ず「重要事項等説明書」をよくご確認ください。詳細は約款によりますが、保険の内容等についてご不明な点等がある場合には、取扱代理店までお問い合わせください。

全国の消防職員・ご家族の皆様とともに

全国消防保険サービス株式会社

〒102-8119 東京都千代田区麹町1-6-2 麹町一丁目ビル5階 TEL.03-3234-1331(代)

引受保険会社・損害保険ジャパン株式会社・東京海上日動火災保険株式会社

SJ20-10632 (2020/12/02)
20-TC06233 (2020年11月作成)

CONTENTS

大阪消防 5

表紙：救助工作車IV型

- 01：コンテンツ／災害概況
- 02：令和4年度 消防局運営方針について
- 04：特集 消防局職場活性化推進事例発表会
- 08：これが大阪市消防局の化学災害救助隊だ
- 10：教育の視点
- 12：突撃取材！ウチはこんな訓練やってます！
- 14：正機関員への道
- 15：ザ安全管理
- 16：コマンドアイ
- 18：調査鑑識
- 20：救急いろは
- 22：震災対策一丁目一番地
- 24：We are Rookies !

- 26：大阪の消防NEWS
- 28：消防職員意見発表会
- 29：アニマル環状線
- 30：防災サプリ
- 31：救急安心センターおおさかだより／
 今月の推しの一枚
- 32：自衛消防隊紹介／女性防火クラブだより
- 33：功績表彰(敏動)／こんな声届いています！
- 34：なんやねん、パソコン～！！
- 35：健康ダイアリー
- 36：高圧ガスの移動について
- 38：九条みなみの昇任試験問題研究所
- 40：局長メッセージ／編集後記

大阪市の災害概況

◎火災概況

	建物火災				小計	車両	船舶	爆発	その他	合計
	全焼	半焼	部分焼	ぼや						
3月中件数	2	1	18	33	54	1	0	0	9	64
令和4年 3月末累計	5	4	54	102	165	7	0	0	32	204
令和3年 3月末累計	3	4	41	99	147	8	1	0	22	178
累計比較	2	0	13	3	18	▲1	▲1	0	10	26

◎救急概況

	救急出場
3月中件数 (概数)	18,814
令和4年 3月末累計	56,807
令和3年 3月末累計	50,741
累計比較	6,066

◎火災・救急以外の消防活動概況

	救助活動	危害排除	水防活動	その他の 消防活動
令和4年 3月末累計	1,009	272	0	304
令和3年 3月末累計	905	273	0	287
累計比較	104	▲1	0	17

令和4年度 消防局運営方針について

大阪市消防局では、「施策の選択と集中」の全体像を示す方針として毎年度運営方針を策定しています。令和4年度運営方針では、次の5つの「重点的に取り組む主な経営課題」を掲げて取り組んでまいります。

- ①住宅における災害の発生件数の低減及び被害の軽減
- ②市民等が利用する施設の安全・安心の確保
- ③救命の連鎖の強化による救命率の向上
- ④大規模災害への対応力の強化
- ⑤発展する大阪にふさわしい消防組織の実現

R4 消防局運営方針

検索  CLICK!

■ 運営方針とは

運営方針は、企業活動などで使われる「戦略計画」（経営戦略）の考え方を行政に取り入れたもので、当市では区局室ごとに作成して当該年度の施策の「選択と集中の方針」を示しています。

その意義・目的は、次の二つです。

① P D C A サイクルを効果的に回す

職員が成果を常に意識して日々の業務に取り組むとともに、その取組の有効性をチェックし、改善や新たな展開につなげる「P D C A サイクル※」の徹底を狙いとしています。

②市民に対する説明責任を果たす

運営方針を作成、公表することで、市民の皆様に対して当市の各所属が何に取り組んでいるのかを明らかにし、説明責任を果たしていくことができます。

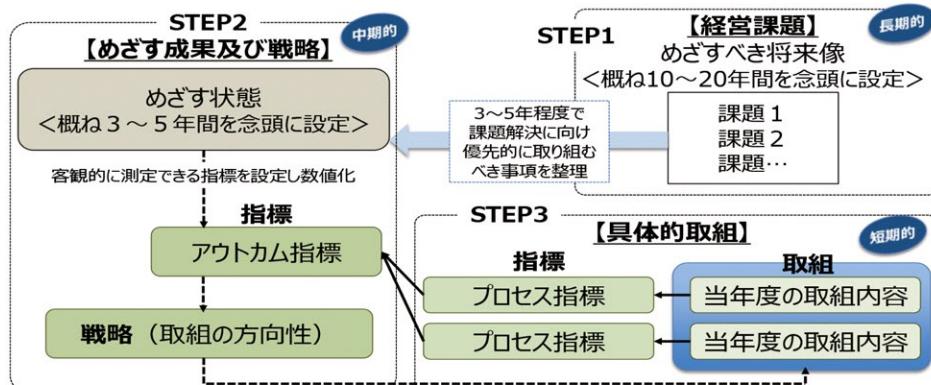
※ P D C A サイクルとは
Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）
→Action（改善）の4つのプロセスからなる活動のサイクルを繰り返し、改善を継続していくための手法です。

■ 重点的に取り組む主な経営課題とは

運営方針は、主に「重点的に取り組む主な経営課題」と「『市政改革プラン3.1』に基づく取組等」の2部で構成されていますが、運営方針のメインとなるものが「重点的に取り組む主な経営課題」です。

「重点的に取り組む主な経営課題」は、施策分野ごとに、「経営課題（長期的視点）」、「めざす成果及び戦略（中期的視点）」、「具体的な取組（短期的視点）」の三つの取組ビジョンに応じた構成となっています。

「経営課題」・「めざす成果及び戦略」・「具体的な取組」の三つの関係は、次のようなイメージです。



■ 令和3年度からの主な変更点

令和4年度消防局運営方針の経営課題1は、昨年度まで「住宅火災の発生件数の低減及び被害の軽減」でしたが、市民が毎日の生活を営む「住宅」において、火災だけでなく住宅内事故※の発生件数も多いことから、今年度より新たな戦略として「住宅内事故への対策の推進」が加わり、「住宅における災害の発生件数の低減及び被害の軽減」に変更となりました。

※住宅内事故とは、住宅内において、日常生活における事故や急病により、支援を必要とする事案をいいます。

■ 令和4年度における「重点的に取り組む主要な経営課題」

令和4年度における「重点的に取り組む主要な経営課題」は、次のとおりです。

① 住宅における災害の発生件数の低減及び被害の軽減

経営課題の概要	主な戦略
<p>市民が毎日の生活を営む「住宅」での火災や事故等が最も多いくことから、その発生件数の低減を図るとともに、早期発見及び迅速かつ的確な対応により被害を最小限に抑える。</p>	<p>【戦略1-1 住宅防火の推進】 ・高齢社会に対応した防火対策の推進 ・効果的な火災予防啓発の推進 ・重大な消防法令違反がある共同住宅に対する違反是正の徹底 ・消火活動能力の向上</p> <p>【戦略1-2 住宅内事故への対策の推進】 ・高齢社会に対応した住宅内事故対策の推進 ・効果的な住宅内事故防止啓発の推進 ・住宅内事故に対する消防活動能力の向上 ・円滑な救急活動の実施と質の向上</p>

② 市民等が利用する施設の安全・安心の確保

経営課題の概要	主な戦略
<p>映画館やスーパー・マーケット、宿泊施設等、市民はもとより国内外から大阪を訪れる観光客等が利用する施設について、消防法令に適合した安全性の高い建物の割合を高める。</p>	<p>【戦略2-1 市民等が利用する施設の防火・防災管理の徹底】 ・計画的な立入検査の実施と徹底した違反是正の推進 ・消防訓練指導の強化</p>

③ 救命の連鎖の強化による救命率の向上

経営課題の概要	主な戦略
<p>高齢化の進展等により救急件数が増加することが予測される中、救命の連鎖の強化に市民や関係機関と共に取り組むことで、心肺機能停止傷病者に対する救命率を向上させる。</p>	<p>【戦略3-1 救命の連鎖の強化】 ・予防救急の推進 ・救急安心センター事業の推進 ・応急手当の普及啓発 ・高度な救命処置が行える救急救命士の養成</p>

④ 大規模災害への対応力の強化

経営課題の概要	主な戦略
<p>日常生活を脅かす火災や事故等の災害はもとより、今後発生が危惧される南海トラフ巨大地震や風水害等の大規模災害に対し、市民一人ひとりがこれに備え、発生時に的確に対応することができるよう、また、消防局が最大限にその役割を果たすことができるよう、自助・共助・公助における災害対応力の強化を図る。</p>	<p>【戦略4-1 市民の災害対応力の強化】 ・青少年層に対する防火・防災研修の充実強化 ・地域防災リーダーに対する実技研修の充実強化 ・防火・防災研修の充実強化</p> <p>【戦略4-2 消防活動体制の充実強化】 ・ICTを活用した情報共有体制の強化 ・大規模災害に備えた研修及び訓練</p>

⑤ 発展する大阪にふさわしい消防組織の実現

経営課題の概要	主な戦略
<p>市民の「信頼と期待」に応える消防として、全ての職員が高い倫理観と規律を保持するとともに、発展する大阪にふさわしい組織体制の整備と人材を育成し、職員の能力を最大限に發揮できる職場環境を整備することで、消防行政サービスの向上を図る。</p>	<p>【戦略5-1 発展する大阪にふさわしい消防組織の実現】 ・2025年大阪・関西万博に向けた消防拠点の整備 ・次代を担う消防職員の育成と職場力の向上</p>

■ 最後に

運営方針に定められた具体的な取組を実際に推し進めていく各職員としては、目前のプロセス指標などの数値目標ばかりに着目してしまいがちですが、市民の安全・安心のためには、その先にある「めざす状態」「めざすべき将来像」を成果として常に意識し、その達成に向けて取り組んでいくことが重要です。

それぞれの内容の詳細については、「大阪市ホームページ」に掲載しています。

検証内容

- ①防火衣を着装して 20mシャトルラン 100回×3セット
 ②いろいろな氷の解凍量をメスリンダーに入れて測量
 ③ハイテクな温度計を使って踏み台昇降中の温度測定

①災害活動と同等の負荷をかけることをイメージし、20mシャトルランを30分間実施。7名同時に実施しましたが、発汗量のいちばん多い隊員は約1.5kgの体重減少がありました(平均しても隊員一人あたり30分で約900mlの発汗)。解剖生理学的に、人体は体重の約2%(体重70kg→1400ml)の水分を失うと熱中症の症状が表れると言われているため、1時間後の水分補給では間に合っていないことが判明。

②氷の大きさや原材料による解凍量を比較するため、どれくらいの大きさで、どのような原材料の氷が適しているかを室温25度の環境下で15日間測量。「30分後に溶けた量=飲める量」とすると、いちばんクールベストに適した保冷剤4個は、「凍らせたスポーツドリンクと凍らせたゼリー」を組み合わせたものと判明。同時に装着時ににおける氷の大きさごとの動きやすさも比較。(図「氷の解凍量」参照)

③防火衣着装時、「胸、脇、防火衣の中の空間」の3か所を温度測定。保冷剤ごとの体温上昇と冷却効果を比較。(図「体温上昇と冷却効果」参照)



踏み台昇降
多チャンネルメモリ付温度測定器使用



あ～、 飲みたい!!



冷たくておいしいよ 😊

ドリンククールベストⅡ



活動中に500ml補給可能

氷の大きさ	25分後	30分後	35分後	40分後	45分後	活動性	解凍量
120 ml (冷凍飲料水)	30 ml	38 ml	48 ml	56 ml	66 ml	◎	○
140 ml (冷凍飲料水)	34 ml	44 ml	52 ml	62 ml	72 ml	○	◎
160 ml (冷凍飲料水)	24 ml	34 ml	46 ml	56 ml	66 ml	△	△
180 ml (冷凍飲料水)	20 ml	28 ml	36 ml	48 ml	58 ml	×	×
180 ml(冷凍ゼリー)	140 ml	180 ml				◎	◎
300 ml (冷凍飲料水)	4 ml	14 ml	30 ml	44 ml	54 ml	×	×

氷の解凍量 (室温25度)

体温上昇と冷却効果

脇：40.3°C
胸：40.1°C
空間：35.5°C

ベストなし

脇：37.8°C
胸：38.0°C
空間：35.6°C

ドリンククールベストⅡ
着用時

最優秀賞 西消防署『熱中症対策委員会』



消防司令補
鷲坂 哲平



消防士長
小阪 知也

経緯

皆さんこんにちは。西特別救助隊の鷲坂です。西消防署熱中症対策委員会を代表して、ドリンクールベストII誕生の秘話をご紹介しますね！皆さんは、災害活動時に初動の30分でどれほどの水分が体から失われているかご存知ですか？長時間の災害対応時、休憩までは1時間以上かかりますよね？水分補給ができる時には、もうすでに熱中症の初期症状が表れている、こんな経験はありませんか？そうなってしまう前に、体温上昇を抑えながら、さらに水分も補給できたりしないかな～と思い考案したのが「ドリンクールベストII」です。現在、組織の体制としてパネル水槽やSCによる水分補給などがありますが、いずれも休憩時に活用するものです。初動時における熱中症対策としてクールベストが有効であるため、この冷却効果を維持した上で、さらに水分補給するためにはどうすればよいかをテーマとして掲げました。



右側



正面



左側

まとめ

- ☆緊急走行中に災害対策飲料水→500ml
- ☆ドリンクールベストII装着した保冷剤4個→500ml
→つまり、活動中に約1000ml補給可能

本検証から、発汗量に基づいた水分補給を適切に行うために、摂取すべきものとタイミングを明確にすることができました。冷凍ゼリーは活動開始から30分ですべて(180ml×2)溶ける、かつ冷たい状態で摂取できるため、水分補給と体温上昇の抑制に非常に効果的である。また、冷凍スポーツドリンクは活動開始から40分後に124ml(62ml×2)飲むことができるが、すべて溶けるわけではないので、その後の休憩までの活動中も冷却効果が期待できる。(図「氷の解凍量」参照)

これをもって、現場到着までの走行中、車内で災害対策飲料水500ml、活動開始30分後に冷凍ゼリー360ml(180ml×2)、さらに10分後に冷凍飲料水124ml(62ml×2)を摂取することができるため、約1000mlの水分を休憩までに体内に取り込むことが可能である。つまり、ドリンクールベストIIは水分補給を行った後でも、休憩までは溶けずに残っている保冷剤によって冷却が継続され、酷暑の季節においてもパフォーマンスを低下させることなく、熱中症対策としての効果が期待できる。

熱中症の発症を未然に防ぐために、
ドリンクールベストIIを活用してみませんか？



活動開始から約30分後



優秀賞 消防庁舎サイネージ計画

昨年は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、街頭広報等の実施が難しい中、西成消防署では新たな啓発手法として、5階の約千個のガラスブロックに広報文を貼り付けて照明で投影し、庁舎そのものを看板として利用することにしました。

消防署の東側の南海線の高架上は、1日約53万人が電車で通過し、よく見えるため効果的な広報が期待できます。

また、看板は余ったポスターとセロテープの使用で、かかった費用は数百円。メッセージ作成作業は3名で半日からず、電気代も安価なことを確認、庁舎サイネージの費用対効果は、とても優れたものであることが分かりました。

そして、昨年5月に「コロナに・まけるな」を掲示、市民と全国の医療従事者、消防隊員にエールを送りました。

次に、10月からは、火災原因1位のたばこ火災への啓発として「寝たばこ・あかん」に更新、年末からは住宅火災の死傷者の軽減に願いを込めた「はよつけや・住警器」の掲示を始めました。

この庁舎サイネージを見た方々からは「コロナに負けんと頑張りや～」とか「寝たばこホンマに危ないな～」との言葉をいただき、その影響を感じることもできました。

西成消防署では今後も引き続き、人々の心に響くメッセージの掲示を続けることで、市民が安心して暮らせる災害に強いまち・安全な都市づくりに繋げていこうと考えます。



西成消防署『庁舎あらうぐ看板作成委員会』

優秀賞 ガンタイプノズル ジャストフィットベルト

12mmロープでプルージック結びを応用した形の吊りベルトを開発

活動時の機動力アップ！

活用例 肩からのズレ落ち防止＆搬送時に両手がフリー



たすき掛け

はしご登はん

梯上放水

エンジンカッター等の資器材にも活用可能

上記の他にも、ホースの引き込みや通水ホースを携行した状態での面体着装など、様々な活動時にGNの取り回しが容易となる！



サイズ調整が可能!!
調整後は自動ロック
スライド

設定に必要なもの
・ガンタイプノズル（以下、GN）
・12mmロープ
・8mmロープ
(GNに本結び等で結着して索環を作成)
・カラビナ
(吊りベルトと索環を繋ぐ)

効果

消火活動能力の向上 安全性の向上

- ・放水態勢の安定
- ・移動転進や長時間活動時の疲労軽減
- ・反動力の軽減
- ・様々な体型にフィット
- ・資器材の落下防止

北消防署『GN 研究会』

問合せ先
北消防署1部 植野

特別審査員賞

コロナ禍における自衛消防協議会の新たなる取り組みについて

コロナ禍における自衛消防協議会の新たなる取り組みについてご紹介します。

北消防署では自衛消防協議会において、毎年技術発表会や防災研修会などを催し、防災知識・技術の向上を図っておりましたが、新型コロナウイルスの蔓延により、大規模な集会など、密となる研修を開催することは困難となりました。しかしそのような社会情勢でも災害が待ってくれるわけではなく、起こりうる災害に対する備えは必要不可欠です。

そこで次のとおり、コロナ禍における新たなる手法に取り組みました。

- ①市民が消防に求める防災の知識について事前にアンケートを実施し、より実践的な通報、避難、消火訓練、心肺蘇生法、倒壊建物救出訓練を実施することで、より現場をイメージでき知識高揚に繋げること。
- ②現場外套の着装、消防車からの放水、はしご車搭乗体験、災害VR体験を選択制により実施し、消防隊の活動や消防署への理解をより一層深め、身近な関係の構築、防災意識の向上を図ること。
- ③感染防止対策として、来庁時に検温、手指の消毒、不織布マスクの装着、資器材の消毒の徹底を行い、研修する事業所は1クール2事業所までとし、少人数で密にならない分散した研修を実施すること。
- ④研修の広報については、事業所の参加意欲を駆り立てるチラシを作成し各事業所に配付すること。

その結果、新型コロナ禍にもかかわらず、参加事業所数が前年比の2倍となりました。この取り組みにより、少人数の利点を活かした事業所との円滑な意見交換が可能となり綿密な関係の構築に寄与し、防災知識・技術の向上だけでなく、新たなる防災教育への形に繋がっています。



北消防署『2部警防担当』

こちら『消防局業務改善応援室』です！

文化 を恐れるな!

【新型コロナウイルス感染症傷病者対応に伴うアイソレーションカードの改良】

(西消防署Confront COVID-19)

みなさま、こんにちは！
消防局業務改善応援室 三代目室長の山本です。
1月18日には消防局講堂において、令和3年度「消防局職場活性化推進事例発表会」を開催しました。
今回は過去最多となる、61事例の応募の中から各課所署長の書類審査を勝ち抜いた8事例のうち、4事例のご紹介をさせていただきます！

【検査対象物台帳管理システムの開発】

(北消防署 管理システム開発PT)

現行のアイソレーションカードに改良を加えることにより、強度が増し、設定の迅速性、傷病者管理の簡便性を確保した。またエアコンからフレード内への送気を実現することで真夏や真冬の搬送時の傷病者の不快感を軽減した。反対にフレード内の空気を車内へ流入させることなく車外へ排気し、車内の汚染を最小限にとどめ、隊員の感染リスクの低減も実現した。

【with コロナに向けた取組】

(北消防署「敏ちゃんねる」はじめました!)

ICT戦略室(現「デジタル統括室」)が導入している「図書貸出管理システム」を、Office365のアプリと連携することにより、消防ホームページの「検査台帳管理システム」を作成。これにより持ち出しに関する全ての管理が紙媒体ではなく、電子で一括して行えるようになり、ペーパレス化と公文書の適正な管理の補填を実現した。

【北区災害NAVY】

(北消防署 地域担当)

ICTを活用し、避難所や地域の情報をリアルタイムでExcelファイルに表示し、区役所と消防でデータを共有。災害状況を可視化することで、感覚的に表示され、災害状況を把握し、区役所との相互の情報の共有に際して割かれる人員を最小限にとどめ、災害時の限られたリソースを最大限有効活用することを試みた。小こまちの発表会出場の8事例の当日の発表の様子は、「Microsoft Stream」チャネル「消防局職場活性化推進事例発表会」に掲載しています。ぜひご覧ください。



これが大阪市消防局の 化学災害救助隊だ

化学災害救助隊 (Chemical disaster Rescue team)

危険物、毒物、劇物、高圧ガス等に係る大規模災害で、発生時に死傷者が多数発生するおそれのある災害に対応する特別救助隊をいう。

大阪市消防局には淀川、東成、此花、住之江消防署の4署に化学災害救助隊が配置されている。

HBC 災害を含む化学災害はもちろんのこと、一般的な救助事案や火災にも備えて訓練を行い、平素から必要な知識の習得及び技術の鍛錬に努めている。

検知資器材

ハズマットエリート



液体と固体の化学物質の検知が可能。液晶画面横のセンサーに剤を置いて分析する他、本体の側面のセンサーに直接剤を触れて剤を特定することもできる。東成 CR と淀川 CR が保有。

スレッド ID



気体の化学物質を検知測定するための資器材。本体にステンレス製のガスセルというものを取り付けてその中に気体を送り込み識別を行う。Android 搭載の物質識別装置。淀川 CR が保有。

LCD3.3



気体の化学剤を検知することができる空間検知資器材。液晶ディスプレイに表示される識別コードにより剤の種類を知らせる。全 CR が保有。

スマートバイオセンサー



空気中に浮遊している生物剤（細菌・ウイルス・胞子・毒素）を検知することができる。淀川 CR が保有。

GX-6000



酸素・硫化水素・可燃性ガス・一酸化炭素の他に塩素・アンモニアの検知が可能。東成 CR と淀川 CR が保有。

RX-8700



高濃度の硫化水素を検知可能。酸素と可燃性ガスの検知も可能。全 CR が保有。

特殊災害特別出場時の CR の活動



NBC 災害が発生すれば一時集結したのち先遣活動部隊を編成し、先陣を切って検知活動の任務に就く。他の消防隊員に危険が及ばないよう周囲の状況を注意深く観察しつつ空間検知資器材を駆使して細心の注意を払いながら安全区域の設定を行う。



検知結果や現場の状況から安全と思われる位置に初動時進入統制ラインを設定し、通報内容や関係者の情報から要救助者の数・建物内部状況・拡散状況等を先遣活動部隊内で共有する。その後、進入隊員の空気呼吸器の圧力や通信連絡体制を確認して陽圧式化学防護服を完全着装したのち被災建物であるホットゾーン内へ進入する。

写真右のサンプリング(剤の採取)用資器材は淀川 CR が独自で考案したもので固体・液体・気体などのような形状でも採取することが可能である。各 CR はそれぞれが作成したサンプリング用のセットを積載している。また、写真左の銀色のバケツはペール缶といい、中に剤を入れて拡散防止を図るものである。



サンプリングとあわせて被害拡大を防ぐために吸着シートによる拭き取りやビニールシート等で上から覆って揮発を防ぐ等、拡散防止作業を実施する。先遣活動部隊の救助隊と協力して建物内で可能な限りショートピックアップを行う。
※ショートピックアップ：汚染された区域から一時的にその危険からの軽減を図る活動のこと。



剤が散布されている場所でサンプリングを行い、CR 保有検知資器材で剤を分析・検知する。また、原因物質が撒かれている災害箇所の情報収集を行い、分析・検知結果とあわせて指揮本部へ伝える。写真のようにビニールシートを敷くことで原因物質の揮発を防ぐのと同時に活動隊員の靴底に付着した原因物質が無意識に拡散される場合があるため、不用意に近づかないよう原因物質の場所を周知する目的もある。



進入隊員による情報から、先遣活動部隊指揮所で CR が保有している危険物データベース（化学物質の性状や危険性等が検索できるパソコン）を駆使して、剤の特性と危険性を調べる。CR 隊長は救助中隊長へ剤の情報・危険性とともに要救助者の位置や人数、建物の区画や内部状況、剤の漏えい状況や空調設備の作動状況等、拡散状況をあわせて伝達し、組織的活動時の活動方針について進言する。

見えない敵に立ち向かう… それが CR の活動だ !!

教育の視点 次の巻 「コミュニケーション」

高度専門教育訓練センター（研修担当）

◆人材育成



訓練万次郎
(通称: 万次郎)
教育訓練のことならお任せを！
新任教官の訓練万次郎！
訓練万次郎は消防10年目の司令補。
教官1年目。

壱司先輩
(通称: 壱爺)
消防職員の教育訓練に携わることができ
て光榮じゃ！
職員の人材育成を担う大ベテランの職員。

消防職員の人材育成は今も昔も上司・先輩から部下・後輩へと脈々と伝承され、強い消防の姿を実現できています。消防職員は、災害現場に常に備え、時に過酷な現場に挑まなければなりません。

消防職員は、災害現場においては、小隊の呼吸が揃うことともに、災害現場においては、小隊の呼吸が揃うことでも、安定したパフォーマンスを発揮できるのでは持つ、ひとたび出場のトーンが鳴れば身を挺して危険から市民を守るために消防車を走らせます。危険な災害現場であるからこそ、最大限の能力を発揮するためには、信頼関係と団結力が必要となります。

言い換えると、職員個々の能力向上をはじめ、日々の円滑なコミュニケーションと小隊・中隊のチームワークの構築が必要不可欠と言えるのではないか？

また、円滑なコミュニケーションとチームワークは、人間関係構築と能力発揮・能力向上の近道であり、人材育成の第一歩として大切ではないでしょうか？

と伝える力と相手の伝えたいことを最後まで聴く姿勢が円滑なコミュニケーションを取るために必要なことになります。コミュニケーションを取ることで、お互いが尊重し合える人間関係が構築できれば信頼へと繋がるとともに、災害現場においては、小隊の呼吸が揃うことでも、安定したパフォーマンスを発揮できるのではないでしょうか？

◆チームビルディング

チームビルディングとは、強い組織を構築していくために必要なチームワークを構築するための手法です。

チームメンバーの、個々のスキルや能力を最大限に引き出すことができ、隊員がより良いパフォーマンスを発揮することができる、それがチームビルディングです。



◆コミュニケーション

日常の業務や訓練・災害現場においてコミュニケーションは必須です。特に、会話では一方通行にならないようキャッチボールを心掛け、相手の気持ちを察することが大切です。それには、表情やしぐさ、話すスピードや声のトーンにも気を払う必要があり、その一つひとつによって相手に与える印象が変わり、相手が話しやすい雰囲気をつくることができます。また、相手に自分の言いたいことをきちんと

竜爺

「それもあるが、『挨拶をすること』は自らの心を開き、相手を認める』という意味があるのじや。」「挨拶の基本は、立ち止まって、笑顔で、相手の目を見て、大きな声で、はつきりと、忙しい時でも忘れずにじやー！」

万次郎

「強めになりますーこれからも、基本を心掛け、しっかりと挨拶します。」「意味ですか？」

万次郎

「人としてあたり前とかですか？」

竜爺

「おはようございます（笑）今日も1日よろしくお願いします。」

竜爺

「おはようございます（笑）今日も1日よろしくおねがいしますよー！」

万次郎

「といふで、挨拶する意味を知つておるか？」

万次郎

「意味ですか？」

竜爺

「おはようございます（笑）今日も1日よろしくおねがいしますよー！」

竜爺

「おはようございます（笑）今日も1日よろしくおねがいしますよー！」

万次郎

「おはようございます（笑）今日も1日よろしくおねがいしますよー！」

竜爺

「

◆最後に

「コミュニケーションが取れているチーム（隊）は、力強く消防力を発揮し、市民の安心・安全を守る」と繋がるでしょう。

消防はプロが集まつた集団ですが、「コミュニケーションが取れていらない」「チームビルディングができない」では能力を十分に発揮できないこともあります。消防員個々の能力向上は、個別指導や研修・訓練が必要となります。一方でその能力を最大限に発揮するためには、日常業務などでのチームのコミュニケーションが始まりとも言えます。



番外編　人材育成の手法

ンスを発揮できるようになります。

チームビルディングを行うことで、コミュニケーションが活性化するだけでなく、メンバーの価値観や考え方を理解することができます。また、得意な分野などを事前に理解しておくことで、適材適所に任務を割り当てることが可能となります。

チーム一丸となれば一人できることであっても成し遂げることができます。まさに消防活動そのものではないでしょうか？

◆リーダーシップ

消防において、特に小隊長は指示を出さなければならず、隊員を導き目標を達成する任務を負っています。

リーダーには「力強く方向性を示し隊員を引っ張っていくリーダー」や「隊員に寄り添い隊員の言葉に傾聴するリーダー」など、リーダーシップの取り方は一つではありません。一般的なリーダー像に囚われることなく、自分の資質や個性を活かしたリーダーシップをとることが可能であり、自ら考え行動できる職員であることは、組織の一員として求められる人材もあります。

職員 「コーチングとティーチングの違いを教えてください。」

万次郎 「コーチングは、やり方がわからない相手、継続できない相手にやり方を具体的に伝えることです。」

職員 「コーチングとティーチングの違いを教えてください。」

万次郎 「コーチングは、相手の可能性を発揮させるために見守り支援していくことです。」

職員 「成長のスピードは人によって違いますので、それもその人の個性として認めることが大切ですよ。」

職員 「リーダーが最初にする努力は何かありますか？」

万次郎 「例えば、プロの消防士として、自身の成長のために、たぬまざる自己研鑽を継続することが、部下の見本・目標となるとともに、部下のモチベーションにも繋がりますよ。」

職員 「人材育成の手法はいろいろありますので、所属で困ったとき、指導方法がわからぬとき、また、疑問があるときなどは、高度専門教育訓練センター（人材育成担当又は研修担当）に気軽に相談してください。」

万次郎 「相手を肯定する言葉をかけるといつては相手を認めると」に繋がります。例えば『おい』ではなく名前で呼ぶ』『あいづち』『ありがとう』などですかね。」

職員 「感謝や労いはどのように声をかければ良いのでしょうか？」

万次郎 「人材育成の手法はいろいろありますので、所属で困ったとき、指導方法がわからぬとき、また、疑問があるときなどは、高度専門教育訓練センター（人材育成担当又は研修担当）に気軽に相談してください。」

実災害へ向けて

経験豊富な職員から若年層職員へ～知識・技術の伝承～

昨今の災害現場の減少により若年層職員の現場経験も減少しており、経験豊富な職員が幾多の困難に直面した経験や多くの達成感、失敗談を伝え繋ぐことで、今後の災害現場に活かされるよう日々知識・技術の伝承に努めています。



基本訓練を突き詰め技術を確固たるものに

阿倍野消防署は、7階建ての訓練塔や模擬家屋などの訓練施設を有しております。施設を有効活用し、日々の訓練を実施しています。特に重要視しているのが基本技術です。火災現場での人命救助は緊急を要し、早期の筒先配備、屋内進入態勢の確立が必要です。ホース延長訓練、面体着装訓練を毎当務何度も何度も繰り返し、基本技術を突き詰めることで確固たる技術を身に付けることができます。また、重機をはじめ多種多様な消防車両も配備されていることから、LT隊との連携訓練や煙霧機を使用しての煙中訓練など、指揮班も常に訓練に参加した中隊単位での訓練を行うことで、被害を最小限にできるよう日々訓練を行っています。



ホース固定訓練



ホース吊り下げ訓練



指揮班訓練



LT隊と連携



屋根上での訓練



進入準備



煙中訓練

おわりに

阿倍野消防署では、今回紹介した訓練内容のほか、『消火訓練ノート』に基づき、直近、中継訓練などは実災害現場に近い環境で訓練ができるよう工夫しています。これからも基本技術を重視し、一人の犠牲者も出さず、被害を最小限にするにはどうすればいいのか追究し続け、市民の生命、身体及び財産を守るために励んでいきます。

突撃取材！

ウチの署は、こんな訓練やってます！

このコーナーは、各署所で実施しているさまざまな訓練の様子を広報担当が突撃取材!!「ウチの署は、訓練スペースに限りがあるから…」「ウチの行政区は河川が多いから…」など、署所で創意工夫した訓練の様子をお伝えします!

第13回は、阿倍野ST小隊による「知識・技術の伝承と基本技術の徹底」です！



今回、訓練を紹介してくれるのはこの人！



消防司令補
津崎 将之

阿倍野消防署は2年連続最優秀獲得！！

阿倍野消防署は令和2年度直近部署消火技術訓練、令和3年度高層建築物災害対応訓練、さらには警防技術練成会においても最優秀となりました!!なぜそんなに最優秀をとれるのか?その秘訣をお教えします!

さらに阿倍野消防署は、署庭が広く豊富な施設が備えられており、災害特性や事情にあわせた様々な訓練が実施できる環境にあります。この恵まれた環境を存分に活用し、日々の訓練に励んでおり、その取り組みの一部を紹介します。

勝利への5箇条はこれだ！！

練成会強化訓練を始めるにあたり出場隊員に心がけてほしいこと「5箇条」を掲げました。この「5箇条」を徹底することで、出場隊員及び署員全員が一丸となって取り組むことができ、最優秀をとることができるのです。

勝利への5箇条

- 一.署員全員が最優秀隊を目指し全力を尽くすべし！
- 二.声は大きく、各個動作はきれいに美しくすべし！
- 三.毎回のミーティングで細部まで徹底して確認すべし！
- 四.事前訓練は仮想本番！完璧な操法を創り上げるべし！
- 五.常に本番と同じ動き、流れをイメージし訓練すべし！



2部警防担当副署長
左向 秀一

正機関員への道



走行中、隊員には経路の確認はもちろのこと、特に安全確認について特段の注意を払うように伝えています。そのため出場前にガーディアンを設置している警防団で、部署位置までの走行経路を乗組員全員で確認してから出場しています。

災害が発生すれば、いち早く、安全確実に駆け付ける消防車両。鼓動が高まる車中で、常に冷静沈着に運転する「機関員」。そんな消防車両の運転に従事する「機関員」は、日頃から出場経路の研鑽ははもちろんのこと、いち早く現場に駆け付けるまでのこだわりがたくさん！ このコンテンツでは、そんな「機関員ならでは」のこだわりをご紹介いたします！

「だれり1
」出場準備編」

氏名	末永 拓海	マイソウルフード	コリアンタウン の星手ミチ
所属			
生野消防署			
消火隊			
H25. 4	採用		
H25. 10	平野消防署	消火隊	
H26. 4	中央消防署	救助隊	消火隊
R01. 4	生野消防署	救助隊	消火隊

「生野消防署は全員が運転手」の合言葉の元、常に乗組員全員で安全確認を行うようにしています。また小隊長としては、狭隘道路での左右折時に必要と感じれば積極的に下車誘導を指示し事故防止に努めています。

小隊長の役割も重要

狹険道路を走行する際は、常に下車誘導を念頭に置き、必要と判断すれば、即座に隊長に進言しています。

下車誘導はどうしても到着時間が遅れると考え、運転に不安があつても全員が乗車したまま安全確認をしがちですが、機関員の判断と乗組員の素早い対応により事故は確実に回避できると考えていいからです。

こだわり2

狭隘で見通しが悪く事故の危険性がある交差点をピックアップし、注意点及び危険因子をまとめたファイルを基に継続的に走行訓練をしています。

このような交差点を繰り返し走行することにより、運転操作の向上はもちろんですが、機閾員と隊員の見るべきポイントのすり合わせをすることも、若年層の隊員でも注意喚起しやすい雰囲気を作るよう心掛けています。

今月の交通事故防止基準

出場経路の研究

乗組員は、常に道路、交通、水利及び建物等の実態を把握し、出場順路などの研究に努めること。



機関員に聞く！

生野管内で特に注意する地域としては、桃谷4丁目、勝山北4丁目付近が該当します。この地域は狭隘道路で囲まれており、特定密集かつ水利指定地域に該当し、多数の木造住宅及び文化住宅が立ち並んでいます。この地域は地図上で見ると「胃袋」の形をした街区（通称胃袋）であり、限られた道からしか進入できない場合が多く、知っていないと到着できない可能性があります。さらに、狭隘道路で囲まれているため消防車両がふん詰まることが予測されるため、他車両の指定消火栓の位置の把握かつ他車両の走行経路までも予測した自車両の経路、運転技術が求められる特殊で危険な地域です。

生野区、ここに注意しニや！



警防活動基本計画

(火災防ぎよ活動の原則)

第 18 条 火災防ぎよ活動は、延焼阻止及び主火力の制圧を主眼とし、次によらなければならない。

- (1) 先着隊は、延焼危険の最も大きな方面を防ぎよすること
- (2) 後着隊は現場最高指揮者の統括指揮のもと、包囲態勢をとること
- (3) 注水は、効果的に行い、水損防止に努めること

* 大阪市消防局には先人が数多の災害現場で培った現場活動における活動指針や行動規範を記した内規がたくさんあります。災害現場では判断に迷うこともありますが、これら指針や規範を頭の片隅に留めておけば、必ずや判断の手がかりになってくれるはずです。

THE安全管理



1 分間の教材

*The
Ayan Family*

コマンドアイ

様々な事案から災害活動を振り返る

西方面隊



アーケードに面した火災について

はじめに

今回は、店舗が密集する商店街で発生したアーケード火災を紹介します。

火元建物は、レトロな雰囲気が漂う飲食店や老舗が数多く立ち並ぶ商店街の中ほどの建物で、北側はアーケードに面しており北側を除く3方向に延焼危険がある面火災でした。

本火災は地域計画Y地域での火災で、高所カメラや出場中の消防隊の情報等により、速やかに第2出場が指令され、さらに「要救助者1名あり」の情報が一斉無線で流されるなど、緊迫した火災でした。



時系列

	覚知時間	
第1出場	6時42分	
第2出場	6時43分	
第3出場	6時45分	

鎮火時間

22時47分

火災概要

木造トタン葺モルタル塗3階場（建394m²／延922m²）
922m²焼損
239m²焼損焼

西側

鉄骨造瓦棒葺板張3階建遊技場（建394m²／延922m²）
105m²延
100m²焼損
木造瓦棒葺一部カラーベスト塗3階建併用住宅（建45m²／延105m²）
100m²延
922m²焼損
木造カラーベスト葺モルタル塗3階天井側壁25m²延
100m²建飲食店（建45m²／延100m²）
25m²延
3階25m²焼損

東側

鉄骨造陸屋根ALC版張4階建併用住宅（建87m²／延330m²）
3階天井側壁10m²、4階天井側壁2m²、外壁200m²
焼損

その他

計5棟

アーケード25m²焼損
表面焼損
死者1名 救出1名

消火活動概要

本火災は3方向に延焼危険があり、また、火元建物がトタン葺であったことや先着隊到着時の火元室内はすでに強い燃焼であつたため、内部進入しての消防活動は困難を極めた。

最先着した直近隊のN消火隊は、火元建物2階からの火炎を確認するとともにアーケード上部の消火足場に取り残された要救助者を発見したことから、即座に、はしご小隊と連絡を取り救助活動に着手した。この間、後着の消火隊は方面原則に従い、各方面に筒先部署し消火活動を実施した。

要救助者の救出完了後、N消火隊は主火力制圧のため、北側のアーケード側から火元建物2階の窓へ折りたたみ梯子を架梯して放水体系を整えたが、開放した窓から空気が室内へ流入したことから吸気側と判断し、南側への延焼拡大を防ぐため、東側隣接建物を経由し火元建物南側2階へ転進後、放水体形を整え、南側及び東側の延焼阻止を実施した。他の消火隊も、同様に移動転進を行い、延焼阻止に努めた。こうした第1出場隊の活動により、火元南側及び東側への延

○アーケード火災では、アーケードのため視認できる範囲が限られており、建物構造がわかりづらい。本火災においても、火元の西側のパチンコ店は一見、鉄骨造に見えだが、実際には木造建物に近い構造をしていた。事実、パチンコ店1階に進入していったF消防隊は建物内での崩落音を聞き、緊急脱出を行つており、仮に建物の奥へと進入していれば、重大事故となつていたことが危惧される。このようなことから、建物概要を早期に把握するとともに、屋内進入に閑しては慎重を期さなければならぬ。その他にも、アーケード内から見ると2階建にみえる建物が多くあった。

また、アーケード内への煙の流入量が多くなれば内廊下のような状況となることも考えられる。さらに、キュービクルへの延焼など、活動障害となりうる事態が発生する可能性もある。こうしたことから、ヘリテレ、高所カメラをはじめ各種ツールを有効に活用し、指揮本部と指揮班が状況を把握し、連携して活動方針を決めていくことが必須となる。

○アーケードでは隣接する建物で壁体を共有する構造となつていることが多い。また屋根が抜けて黒煙や火炎が噴出している場合でもアーケード内の煙がない場合（写真①②）もあり、指揮本部、指揮班及び活動隊は、燃焼状況の把握が難しいことを考慮して活動を行う必要がある。

○連結送水管は乾式が多く、今回の火災現場の場合は口径100mmの配管が、アーケードの北側及び南側にそれぞれ設置されており、それらの配管が全て繋がっている状態で、総配管

焼はくい止めることができたが、西側のパチンコ店は瓦棒葺で屋根が抜けず、建物内の消火活動が難しい状態が続き、更に延焼する危険性が高まつたことから、指揮本部の指示により、第2、第3出場隊を西側の防ぎよため集中的に投入し、第1出場の指令から2時間27分後の9時10分に鎮圧に至つた。

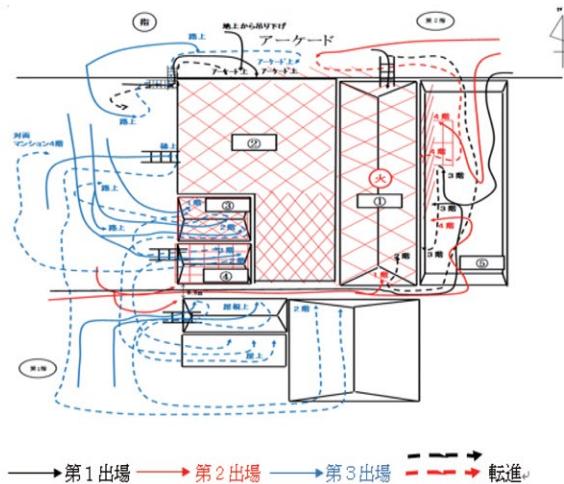
アーケード火災の特徴



写真①
覚知から約14分後の高所カメラの様子



写真②
覚知から約14分後のアーケードの様子



まとめ

今回の火災では、さまざまなかかる危険因子がありながらも、要救助者の早期救出、包囲体制の早なつており、1回の災害現場での経験が貴重なものとなつている。

近年、火災件数の減少により、隊員の現場経験が非常に少なくなつておらず、1回の災害現場での活動を実施した。しかしながら、5棟1291m²の焼損とともに、火災による死者が発生している。

アーケード火災について、今回紹介した特徴を把握して今後の警防活動に活かすことが非常に重要であるとともに、他の形態の火災現場においても、この教訓を生かして、火災による被害の軽減に努めていく必要がある。

長は約630mとなつていた。口径100mm、長さ630mの配管内を充水するためには、約5m³の水量が必要となるが、2線送水で10000ℓ/分の送水を行つたとしても、充水に45分かかる。したがつて、各消防隊は直近隊や中継隊が連結送水管に送水しても、有効な放水が可能になるまで時間を要することを十分に理解しておくことが必要となる。

調査鑑識

Survey & Investigation

－次世代に語り継ぎたい火災調査－



第十一走者
司令課 指令管制業務担当
松前 篤志 課長



▷ 次世代に残したい事例 “証人出廷から学ぶ火災調査の本義”

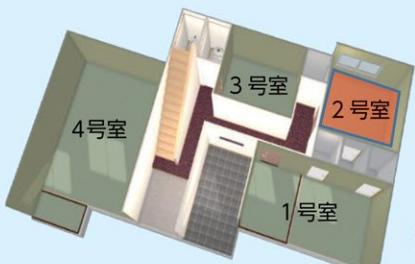
第十一走者は、司令課の松前課長です。消防の火災調査は、火災の初期における燃焼状況から火災の全貌を把握していること及び火災についての専門的知識・経験を有することに基づき、捜査機関の行う放火及び失火の捜査に協力することを目的の一つとしています。しかし、その目的はあくまで副次的なものであって、火災調査の目的の主眼は“火災予防の徹底に資すること”であることを忘れてはいけません。今回、松前課長には、放火事案の刑事訴訟で出火原因判定者が証人として召喚を受け、その裁判の中で消防が行う火災調査の目的に対しての認識について消防と司法の間で摩擦が生じた事例を紹介して頂き、消防が火災調査を行う本義や調査書類の重みについて教えて頂きます。

▷ 被疑者が供述を一転させる…証拠不十分として2年後に消防へ証人召喚状が届く

【火災の概要】

- 平成17年5月某日の早朝、北管内において木造瓦葺モルタル塗2階建共同住宅が全焼した火災
- 1階2号室から出火し、直上の住人2名が死亡
- 焼損の状況や避難した住人の供述から出火室は2号室と判定
- 2号室占有者は警察に拘留され消防は直接聴取できていないが、取り調べ警察官に放火したことを自供
- 2号室占有者は消防到着時に階段付近に座り込んでおり、飲酒していた様子であった

実況見分途中、警察から「放火した」と自供の情報が入る



1階のイメージ図

- 供述は焼損状況にも合致する
 - 電気的要因は完全に否定できないものの可能性は低いと判断
 - 警察と合同で燃焼実験を行い、現場と同様の燃焼結果
- ⇒消防は各資料を基礎として合理的に考え、出火原因を「建物内放火」と推定した。

数か月後、被疑者が「やっていない」と供述を一転

裁判長から警察の取り調べ方法について言及され、有罪に持っていく検察側からの依頼で、

2年越しに当時の出火原因判定者が証人出廷する。

民事、刑事に関わらず、訴訟において一定の事実を主張する当事者は原則それを立証する必要があり、その証拠調べの方法の一つに“証人尋問”がある。刑事訴訟においては、検察官が照会により得た消防の調査書類等を裁判所へ提出し、これを被告人側が証拠とすることに同意しない場合に、出火原因判定者が証人として召喚を受けることがある。



▷ 消防の写真は証拠ではない、火災予防のための“資料”である

【裁判での争点】

- ・被疑者取り調べ中の供述により「放火」を確定?
- ・捜査機関は誘導により自白を強要した? (冤罪)
- ・他の火災原因 (電気火災) の反証

書類上難しい言葉を並べても、説明責任を果たさなければならない相手は常に火災の素人である。そのため、分かりやすい書類作成、反証を確実にしなければならず、それを達成できるだけの知識を備えておくことが我々には重要である。

【本裁判から学ぶこと】

- ・実況見分中に「自白」の情報が入ったが、現場で立会等が行われなかった
- ・電気配線、ブレーカーの詳細な調査は非常に重要
- ・現場での捜査機関との情報共有等のルールを設定する
- ・出火出場時の見分は出火箇所を絞り込む重要な事実
- ・消防のプロとして尋問に対応する知識が必要
- ・裁判官等司法関係者は火災に対して知識がない

▷ 松前課長に聞いてみました

火災調査は、消防の根幹や!



(秋) 実況見分はどんな雰囲気だったのですか?

(松) 実況見分の段階では、占有者は確保されてしまっていたんやけど、見分途中に「吐きましたわ!」って知らせが警察から入った。ここに火を付けたって言うてますってことで、その自供した供述内容が焼けとも合ってる、正直、消防も警察も全員が「やっと終わる」と内心ホッとしたわけや。そしたらな、急に実況見分が終わりの雰囲気になり始めていった。でも、このときめっちゃモヤモヤしてた感覚はあってんな。「あれ被疑者連れて来なくていいの? 警察、写真撮らんでもええの?」って。でも死者が上階で2人も出てるし、次はこっちも見分けなあかんって思いと、少なからず疲労感もあったと思うわ。でも今思い返してみると、ここが一番の反省点やったと思う。違う目的をもった消防と警察が実況見分で共存していくために相手の動きや任務を理解してきていたし、同じ視点、同じテーブルでやっていきたいって思いで警察との関係性も良くなってきていた時代でもあったから、このときもう少し踏み込んで警察に対して提案したらよかったです。見過した穴は時間が経過した後では埋められない。埋めようとすれば必ず変な盛り方になる。実況見分をはじめ何事も基本通りに進めるのが大事やな。

(秋) 証人出廷を命ぜられたときはどんなお気持ちでしたか?

(松) 普段から裁判所や弁護士が消防の写真を「証拠」って言うことに腹が立ってん。「いや、証拠ちゃいますよ。消防の情報は資料です」っていうのをとにかく伝えたかった。ちょうどこの頃かな、消防のカメラが現像に失敗したら終わりってことでデジカメに代わってきたのは…。色々加工してはいけないルールがあるけど、別に変えていいと思うねん。だって消防が写真を撮る意味は火災予防に繋げていくための資料なんやろ? 分かりやすかったらなんでもええねん。んで、警察から証人出廷で裁判に出てもらわなかんかもって話がきて、当時の上司に「すまんけど出てくれへんか?」って頼まれた。そのとき、嫌って気持ちは全くなくて、「全然いいですよ。勝ってきますわ!」って答えた。“勝つ”っていうのは別に裁判長や弁護士とやり合って言い負かしてきますって意味ちやうで。司法に「火事のプロは消防なんや」というのを分からせてきたるって意味や。むしろ「消防が火災調査を行う本義は火災予防のためなんや」というのを司法に伝えるのに、この裁判を活用できる! チャンスや! と思ってたな。

(秋) 後輩が火災調査を学ぶ上で心掛けておくべきことを教えてください。

(松) 消防署には30年分の調査書類が保管されている。これを1日1件でいいから、目を通すだけでもええ。隊で雑談したりするだけでもええ。せっかく先人たちが残した財産がそばにあるんやから過去の火災調査を勉強する機会を設けたらえんちゃうかな。現場の数が減っていることは関係ないと思うわ。消防がフォーカスされるのは火災現場やねん、車両の挟まれみたいな救助やなくて、あくまで火災。消防人として持つとかなあかん基本のキは年齢や階級に応じて変わるけど、なんで火災になるの? なんで燃えるの? っていう“火事”を知らんってことは消防として恥ずかしいことやと思うねんな。

勉強になります!

後輩たちに
一言お願ひします

出火原因から火災予防へつなげることで、多くの方の人生を救うことができる。
いわば火災調査は最大の救助である。先人たちの教えを大事にして下さい。





日産パラメディック 大阪市消防局再レビュー

令和3年度予算にて納入された11台の高規格救急車は、大阪市消防局として約20年ぶりとなる日産パラメディックとなりました。担当者とメーカーが何度も打ち合わせを重ね、多くの人の想いが詰まった11台は令和3年3月15日に無事納車され、現在大阪市の救急現場最前線で運用されています。これまでのトヨタハイメディック高規格救急車から変更されたポイントが数多くありますので、一緒に見ていきましょう！

まずは車体。日産キャラバンNV350が車体に使われています。日本でも幅広く普及し、大阪市消防局のCCにも採用されている車種ですので、見慣れている方も多いのではないでしょうか。今回納車された車両は全て大阪市消防局初仕様となるパートタイム4WDです。通常時は2WD走行となります。悪路や雪道等では4WDにスイッチ1つで切替可能です。緊急消防援助隊への登録には4WDであることが条件ですので、今回納入された11台が全てパートタイム4WDとなったことで、大規模災害に対してより柔軟な対応が可能となりました。ベース車体の変更により大きな違いが出てくるのが、エンジン周辺のメンテナンス方法です。エンジンの位置はトヨタハイメディックと変わらず前方シート直下です。しかし、これまでのトヨタハイメディックではポンネットからのウォッシャー液等のメンテナンスが可能でしたが、日産パラメディックでは衝突時のクラッシュブルゾンとしてポンネットが機能するように車体と一体型となっており、開けることができません。運転席、助手席周りから各種補充及びメンテナンスを行う必要があります。ウォッシャー液補給口が助手席ステップ近くに、ブレーキリザーバータンクが運転席ハンドル横近くに配置されており、カバーを外しての点検補給を行ってください。また、給油口にあっても車種の変更により車体左側面から右側面後方に変更されています。給油時の車両停車方向に注意してください。

これまでのトヨタハイメディックではフロントグリル下部に正面を向いたサイレンアンプスピーカーが取り付けられていたが、日産パラメディックでは防水機能付きのサイレンアンプスピーカーがバンパー下部左右に斜め下向きに2カ所取り付けられています。正面のみではなく地面に音を反射させることで、より効率的な周囲への注意喚起を目指しています。

注意喚起の面では、車両後方上部にLED警告灯が4つ、サイドミラーにフラッシュランプが追加されました。右左折時や緊急走行時の車両後方に向けた視認性が一層向上しています。また、サイドミラーにはタイマー式のヒーター機能が内蔵され、スイッチ1つで一定時間内蔵された熱線を作動させることで曇りを防止し、サイドミラーが常時見やすい状態を維持します。法規適合によりヘッドライトとフォグラランプの「OFF」スイッチ無しの仕様となり、「AUTO」が追加されました。外部の暗さにより全自動でライトが点灯及び消灯します。緊急走行のため昼間でもライトを点灯する際は手動にて切替が必要です。



NV350をベースとした新型日産パラメディックが大阪市消防局に納車された。



エンジンメンテナンス時には写真のようにシートを上げて固定する必要がある。



NV350キャラバンシリーズのフロントグリルデザインが見てとれる。LED警告灯の位置及びサイズについては変更なし。



運転席ハンドル横に設置されたブレーキリザーバータンク。(カバーを外した状態)



車両後方の視認性向上のため、新たに4つのLED警告灯が車体上部に設置された。



AC100V外部電源入力マグネットコンセントは通電中にエンジンがかかるない仕様となりました。出場の際は確実に抜いてから出場してください。トヨタハイメディックのマグネットコンセントと同じメーカーが製造しているので、同じような外見をしていますが、端子配列が違うため互換性はありませんので、充電時は注意してください。

車体の大まかなデザインは変わっていません。しかし、これまでマグネットシールで表記していた車体側面後方上部の「OSAKA FIRE DEPT. AMBULANCE」が車体に直接ペイントされる形になりました。車体内部のレイアウトに関しては、基本的な資器材の配置場所にトヨタハイメディックと大きな差異はありませんが、収納に関しては左側面スライドドア近くにある資器材棚のレイアウトが大きく変更されています。自動式心肺蘇生器(クローバー3000)本体と8L酸素ボンベが置けるように、棚上部に8L酸素ボンベ用のスペースと固定具を設けました。棚下部には自動式心肺蘇生器本体がすぐに取り出せる扉の無い広いスペースを設けました。車内から運転席後方の屈折担架等資器材へのスムーズなアプローチのため、車内ドアの一部を折り戸式に変更し、資器材が車内から取り出しやすくなりました。このドアを全開することで、前方から車内への視線を防ぎプライバシー保護の役目を果たします。また、資器材の柔軟な配置を可能にするため、運転席後方資器材庫に高さ調整可能な棚を設置しました。ルーフ前方及び後方に新たな資器材収納スペースが設けられ、更に資器材が積載できるようになりました。ルーフサイド収納庫の扉はどの位置でも止まるように設定されているため、扉が重く感じるかもしれません、仕様ですので絶対に潤滑剤等を吹きかけないでください。開放しても扉が止まらなくなります。運転席周りの変更点ですが、機関員が1人運転時にもサイレンの操作がしやすいよう、分かりやすく色分けされた交差点進入・サイレンリモート・渋滞通過ボタンがハンドル右隣ダッシュボードに追加されました。運転中に声での注意喚起も行えるよう、従前どおり運転席上部にフレキシブルマイクが搭載されています。ANSIN設置板と車内空調ボタンに十分な間隔を設けることで、隊長・機関員が空調を調整し易くなっています。また、盗難防止装置にあっても、車種の変更により解除方法等が変更されていますので、初めて運転する際は習熟に努めてください。

新型ストレッチャーは走破性向上のため車輪が現行ストレッチャーの様に横に曲がりません。これによりベッドの高さを中段にしたまま、ストレッチャーをスムーズに移動できるようになります。CPA時に胸骨圧迫を施しやすい高さを移動中もキープできます。しかし、その反面ストレッチャーから手を放す際は、ブレーキを必ずかけておかないと、坂道では自走する可能性があります。ストレッチャーを収納する防振ベッドに関しては傷病者搬入後にオートレベルスイッチを一度押下することにより、自動的にコンプレッサーが作動し傷病者の体重に合わせた最適な防振状態となります。

大阪市消防局として約20年ぶりの日産パラメディック納入となりましたが、車種の変更により救急活動に戸惑いが生じないよう、入念な打ち合わせと検査により、細部まで救急活動を念頭に置いた設計及びデザインが確保されています。我々の救急活動に欠かせないパートナーとして、新しい仲間として、期待通りの働きをしてくれることでしょう。



左側面スライドドアを開けると、自動式心肺蘇生器本体と8L酸素ボンベをすぐ持ち出せるよう、棚が追加された。



運転席ハンドル横ダッシュボードには色分けされた交差点進入・サイレンリモート・渋滞通過ボタンが設置されている。



ストレッチャーについては最新型の導入により、車輪が接地時に横に曲がらなくなった。この仕様により、ストレッチャーベッドを低い位置のまま移動させることが容易になっている。



車内からのスムーズに屈折担架を取り出せるよう、扉を折り戸式に変更。



リアハッチ側からの車内。トヨタハイメディックとほぼ同じ資器材配置場所となっている。

震災対策

一丁目一番地

近い将来、発生が予想される、南海トラフ大地震や上町断層帯地震。消防局重点目標にも掲げる「大規模災害への対応力の強化」は、まさに「消防局一丁目一番地」。このコーナーでは、市民の皆さんと一丸となつて取り組む、各署の震災対策についてご紹介いたします。



震災実務担当者

中央消防署



中央区は大阪市を構成する24行政区の一つであり大阪都心圏の中核を成す行政区です。北部では、大規模な超高層ビルが立ち並ぶオフィス街となっており、南部では大阪ミナミ(難波や心斎橋など)の大繁華街が広がっています。また、上町断層帯が中央区の南北を縦断しているため、そこで地震が発生すれば大阪府内においても特に甚大な被害が及ぶと想定されます。

中央消防署 震災対策解説

【水害時避難ビルの現地確認】
中央消防署の各隊に中央区の水害時避難ビルに視察へ行つてもらい、特に新配属された方に対し、地図上だけではなく実際に現地を把握してもらうことを目的として実施しました。

中央消防署では1年度で2回実施される本部訓練の他に上町断層帯による直下型地震及び南海トラフ巨大地震を想定した所属訓練をそれぞれ実施しております。訓練内容は、初動措置訓練及び大隊本部訓練に加えて毎年震災に対する新たな対応策を考案し、その検証を兼ねたものです。これまでの検証をいくつか挙げると次のとおりです。

【河川からの取水訓練】
地震の発生により、水道断水が発生し消火栓が使用不可となる可能性がある中、貯水槽や防火水槽、ブール等の限りある水源での長時間の消火活動は困難が予測されます。自然水利は半永久的に使用できる水源ですが、発災時に、確実に部署できるのかどうか把握しておく必要があるため、実際に中央管内の自然水利部署ポイントへ向かい、部署位置の確認及びその他調査を行いました。潮位によつて部署の可否が変わらるかどうかを調査することができたため、実災害での対応能力の向上に繋がる訓練となりました。

【受水槽からの給水方法確認】
震災で水道断水が発生した場合のトイレ、洗面等の生活用水の確保手段として、各署所の受水槽からの補給があげられます。各署所においての受水槽の場所、水量、構造及び停電時の使用方法を把握し、災害時に効率的な補給活動を実施することを目的として実施しました。その結果、中央消防署で確保できている水量の把握ができました。

【P.Iへの遠距離大量送水システム積み込み訓練】
震災発生後に水道断水で消火栓が使用できない場合に、遠距離大量送水システムの活用が想定されるが、各方面的D.B搬送車は交通状況や他署の要請等によりタイミング良く来てくれるとは限りません。そこで、中央消防署で搬送及び延長までを自己完結できるよう、P.Iに積載する訓練を実施しました。以前に他署で検証している資料を参考にして、中央消防署のP.I2台に分散させてユニットのほぼすべてが積載可能であることが分かり、およそその時間と作業に必要な人員を把握することができました。

また、日勤(調査班)のおおまかな任務は中央消防署震災活動マニュアルに記載していますが、さらに細かく決めておくことで初動時の情報収集が早くなり、動きやすくなるのではないかと考え調査班のマニュアルを作成しました。

主要水利部署可能位置図 及びDB積載要領

断水が発生した際に、火栓の使用不能が予測されます。そこで、自然水源の確保することにより迅速化することにより、自然水源の確保が可能となりました。

また、断水が発生するごとに、DBの要請も増える事が想定されます。そこで、中央消防署ではP.I.を使用してのDB積載要領を確立し、D.B.I.を要請しない場合の対応についても独自でマニュアル化しています。



調査班の任務

補給班、調査班の任務である「消防活動班への応援」を細分化しています。内容の一部としては、消防活動班が出場している覚察事案に対してそれぞれ調査班から2名程度派遣するというもので、現場状況等に関する本部との連絡、現場活動の記録及び写真撮影を担ってもらいます。そうすることにより、消防活動班が活動に専念することができます。



今後について

【生活スペース】

現在、中央消防署では約170人の署員がいます。さらに、津波警報が発表された場合は福島消防署の署員も参集し、合計約270人の職員が集まります。

しかし、中央消防署にはその収容能力がないため、対策として中央消防署の近くで待機人員の収容が可能な施設の確保に取り組んでいます。

【防災遠足】

また、「自助」「共助」の防災意識の向上として引き続き小学校を対象とした防災学習を実施していきます。震災による被害を最小限に抑えるために今後も、「自助」「共助」の大切さを伝え、それぞれの災害対応力を高め連携し震災を乗り越えられる町づくりを目指していきます。

【停電時の対応】

震災に伴う停電が発生した場合に消防情報システムの障害、有線及びネット環境の停滞も考えられます。そうなれば、活動隊からの出場報告、事案詳細報告の無線がより重要になります。そのため、その様な状況を想定した訓練を行い、劣悪な環境下でも災害に対応できるよう、情報収集及び管理、伝達訓練に取り組んでいます。



大阪府立消防学校(第111回初任教育)

校外訓練

- 箕面団地訓練 -

冬の寒さが厳しい2月16日、箕面市にある箕面団地を活用した消防訓練を実施しました。箕面団地は昭和36年に建設され築60年が経過し、建替え工事が計画されています。

住戸扉や窓、パーテーションの破壊についての制約はなく、放水可能のことであつたため、実地訓練を計画し、初任教育生105名が参加しました。10月に入校してから、日々ホースを延長し、通水し、放水を行う一連の流れを繰返し、訓練してきました。また、三連梯子を迅速に架梯し、応急はしごや抱え救出、検索技術についても基本に重きを置き実施してきました。

しかしながら、団地での訓練では階段室型共同住宅の狭い階段や踊場でのホース延長、三連梯子の架梯位置の植え込みや基底部位置が水平ではないところ、進入する腰窓の開口部が狭い等「訓練施設の様に整備が行き届いていない環境」で戸惑い、活動が止まってしまう学生が続出していました。教官は、学生に対して「教育訓練期間において失敗という概念はない」と伝えています。成功しようが、しまいが何か得ることがあり、それが経験で財産となります。



上手にできなかったのなら、何故そうになったのか、次に繋げるためにはどうすべきかを考えるきっかけとなると考えています。

また、実際の建物で訓練できたことで、消防学校の訓練施設との違いを理解し、一足先に実現場の難しさを体感し、学生自身が自分の技量を認識する良い経験になったと思います。

残りあとわずか、一生懸命頑張る学生の応援をよろしくお願いします。



- 水損防止訓練 -

耐火建物の火災では、水損を考慮した活動を常に意識し、自分の放水が火勢に対しどれ程の効果を発揮しているかを確認しながら放水し、無駄な水損を発生させないように活動させています。

それを理解した上で、発生してしまった水損による被害を最小限におさえる事を目的とし、「水損防止訓練」を実施しました。

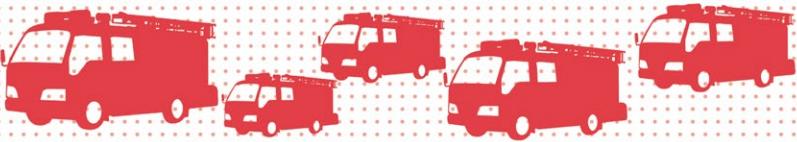


訓練施設上方から水損が発生する状況をつくり、その場にある物とサルベージシートを含む携行資器材を活用して水損防止を実施していました。

排水場所の決定から、導水経路の作成、被覆まで学生自らが考えて実施していました。中にはホースを導水ラインに使用している学生も見受けられました。



班内で意見がぶつかり合う学生や、意外な発想を出す学生など普段の訓練とはまた違った学生的一面が見られました。



貝塚市消防本部

和泉葛城山・登山道で山火事予防

貝塚市消防本部では、本年3月3日・4日に、管内の和泉葛城山（標高858m）にて山火事防火啓発を目的に山林踏査を実施しました。

大阪府と和歌山県にまたがる和泉葛城山頂付近の貝塚市・岸和田市両域に群生する「和泉葛城山ブナ林」は、太平洋側の、しかも標高800m前後の高度の低い位置に分布しており、ブナ分布の南限域にこのような純林が存在することは学術的にも貴重とされ、国の天然記念物に指定されております。

山林踏査では、登山道を中心に設置している防火啓発標識の確認、ポケナビ（携帯型ナビゲーションシステム）操作の習得訓練を行いました。

また、山林火災に対応する為、毎年、岸和田市消防本部・同消防団と合同で消防訓練も実施しています。

本市では、ここ数年山林火災は発生していませんが、過去には数日間に及ぶ山林火災が発生したこともあり、貴重な自然を火災から守るために、油断することなく取り組んでまいります。



高槻市消防本部

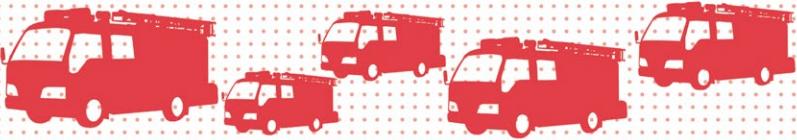
女性消防団員が市内公民館にて防災展示を実施中！！

高槻市消防団では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、保育所や幼稚園等で実施している人形劇や紙芝居等の予防広報活動が制限されるなか、今出来ることは何かを考え、女性消防団員による防災展示を、市内公民館で実施しました。

令和3年6月から防災展示を開始し、令和3年度は7箇所の公民館において、防災展示を行い、令和4年度も継続した実施を予定しています。（1箇所につき1ヶ月程度）

防災展示を行う会場では、防災に関するアンケートも実施し、地域の方から寄せられる質問にも回答しています。

高槻市消防団は、女性消防団員による防災展示を実施することで、地域の皆様が少しでも防災の意識を持ち、いざという時の備えを行っていただけるよう、活動を継続してまいります。



枚方寝屋川消防組合

「災害時等における応急対策の協力に関する協定書」を締結しました！

枚方寝屋川消防組合と管内の事業所の株式会社前田組は、令和3年10月29日、「災害時等における応急対策の協力に関する協定」を締結しました。

令和2年7月に発生した静岡県熱海市での土石流災害をはじめ、近年多発する大規模災害への備えとして、また、消防力だけでは対応困難な災害が発生した場合に迅速・確実に応急対策を実施するため、同事業所と協定を締結したものです。

今回締結した協定は、災害時に重機等による活動が必要であると認めるときに、同事業所から重機等を派遣していただき、被災者の救助や消防活動上必要な障害物の除去といった応急対策業務の協力を行っていただくという内容です。

本協定の締結を受け、令和3年12月13日、「作業員が土砂崩れに巻き込まれた」という想定で合同訓練を実施しました。

なお、合同訓練の様子については、本消防組合公式YouTubeチャンネル「ひらね19」で配信しています。



富田林市消防本部

『救急車のよびかた“やさしい日本語”』在住外国人向けリーフレット配布開始

富田林市消防本部では、在住外国人等が躊躇せず救急要請が行えるように「やさしい日本語」を主としたリーフレットを作成し配布を行っています。作成に至った経緯は、令和元年に行った救急多言語対応訓練がきっかけとなりました。訓練において、英語は通じず簡単な日本語でコミュニケーション可能な外国人が多いFew Inbound地域である本市の特性が判明し、同訓練の119番通報の際、通常の指令員による聴き取り方法では伝わりにくく、機械音で流す定型文も通報者には通じませんでした。そのため市内の日本語学校協力の下、英語ではなく、「やさしい日本語」で通報内容が説明されたリーフレットの作成に至りました。リーフレットを手にした人からは、「(通報時に)何を言えばいいのかがわかった。」「これがあれば救急車を呼べそう。」など多くの嬉しい声をいただいています。今後も視点を広げ、管内住民が安心・安全で暮らせるまちを築いてまいります。

消防職員意見発表会

優秀賞

伝えたい…。



平野消防署（警防担当）

小林 祐樹



令和4年2月8日に開催された第69回消防職員意見発表会。こちらのコーナーでは、今大会で見事、最優秀、優秀賞を受賞した方の想いをご紹介していきます。

みなさんの今後の業務に役立つヒントや、人材育成に関することなど、たくさんの想いがつまっています。

今月は、優秀賞を受賞した、平野消防署小林司令補の「伝えたい…。」のご紹介です！

「子どもが二人おるぞ。」と小隊長の声が響きました。

土砂に飲み込まれた家の隙間に、二人の小さな兄弟が、折り重なるように挟まっていたんです。

これは、平成30年に発生した西日本豪雨災害に伴う、緊急消防援助隊として行った広島での出来事です。

2人の兄弟は、13歳と2歳の男の子。びしょびしょに濡れた服を身にまとい、呼びかけには応答なく、動くことすらありませんでした。

2人までの距離は約2m、先頭で土を掘り、呼びかけをしながら瓦礫をどかしていた私に、それまで経験したことのない動悸と、緊張感、手の震えがあったことを今でも忘れません。

また、この災害現場では、兄弟のお父さんが我が子を探すため、連日私たちの活動を見ていたんです。

当時の私にも、4歳になる息子があり、2人目となる娘の誕生を3週間後に控えていました。その息子達と同年代の変わり果てた2人の姿、我が子を見つけたお父さんの姿を目の前にした私に、余裕はありませんでした。

私は、この意見発表会を通じて、若手消防職員の方に聞きたいこと、伝えたいことがあります。

先輩や上司から「本当の災害現場やと思って訓練しろ」と言われた経験はありませんか。言われたときその言葉の意味がわかりましたか。

私は消防の仕事についた頃、その言葉の意味がよくわからず、「経験年数も浅いのにどうやって本当の災害現場やと思うねん」とさえ思つたこともあります。

しかし、これだけは伝えたいです。自分の知識やスキルが試される災害現場は、経験年数に関係なく突然やってくるということ。そして、経験したことのない過酷なメンタル下に置かれるということです。

それらに打ち勝つためには、日頃の災害をイメージした訓練の積み重ねが重要で、それに加え、知識習得のための勉強、他の職員との信頼関係の構築がとても大切なんです。私は、2人の兄弟から、災害現場を通して教わりました。

約3500人からなる大阪市消防局において、この組織の一員になった理由は千差万別であり、考え方も人それぞれだと私は思います。しかし、消防人である以上、人命救助に対する思いはひとつでなければいけません。

これから共に、次世代を担う後輩職員に伝えています。自分の知識やスキルは突然試されるという現実、今日、明日、いつやって来るかわかりません。その時に後悔しないためにも、常日頃から恥をかくことを恐れず、怒られることを恐れず、貪欲に仕事や勉強に取り組むこと。

私は、2人の兄弟に出会い、教わった思いを原動力とし、大阪市消防局を発展する大阪にふさわしい今以上の矜持を持った組織にできるよう、職員全員で作り上げていきたいと考えています。



小林司令補に一問一答

Q：広島での経験は、今の現場活動にどうつながっていますか？

広島での救出活動は長時間を要し、体力的にも精神的にも困難を極め、それでも集中力を必要とし、他隊員と励まし合い連携した活動が非常に重要となっていました。その中で、当時の小隊長は各隊員の意見に耳を傾け、士気を高めながら小隊が一丸となって活動出来るように活動していました。

私はその経験を通じて日頃の現場活動においても、あの時的小隊長のように積極的に自分の考えを伝え、後輩職員の意見や考えを聞き出し、若年層職員も含め小隊が一丸となって活動出来るようにする意識を持つことに繋がっています。

Q 最前線で救出活動にあたっていた時、なにを感じましたか？

私自身、子どもの要救助者を救出する経験はこの時が初めてでした。当時の私は、4歳になる息子がおり、二人目となる娘の誕生を3週間後に控えていました。消防の仕事に就いた頃、「亡くなった人や要救助者に感情移入すると精神的に辛くなるよ」と教わっていましたが、いざその場面に直面すると自分の子どもと重なり感情移入する自分が居て、ゴーグル越しに涙を流しながら土砂を掘ったことを覚えています。また、この救出活動では大規模災害に対するBR技術を使用しましたが、日頃の訓練の大切さを身に染みて感じた出来事でした。

Q この経験を通して、後輩に一番伝えたいことはなんですか？

一番伝えたいことは、「日頃の訓練で習得している知識や技術を発揮する災害は突然発生するということ」です。特に、自小隊が活動せずに終わる災害が多数ある中で、訓練成果を発揮する場面は少ないと 思います。しかし、訓練成果を発揮する時は、市民の生命や財産が危険に晒されている時であり、その緊迫した中でどれだけ安全、確実かつ迅速に活動出来るかは日頃の訓練量であり、知識の量であると思います。そのためにも、日頃から貪欲に業務や訓練又は勉強を行うことが重要であり、また普段から周囲との信頼関係を構築することも大切です。近年は新型コロナウイルス感染症の影響で業務制限もありますが、一日を悔いなく生活することが災害に備えることであり、やりがいにも繋がると思います。

アニマル環状線

～我が家のおすそ分け～

我が家のお梅を紹介する前に、まず初めにお伝えしなければならないことがあります。

それは、このアニマル環状線が始まって早2年…

いつアニマル環状線の担当の方から声がかかるのか、心待ちにしていたことです。

そして！ついに、この度お声がけいただき、晴れて寄稿することができます。編集部の皆様、このような機会をいただきありがとうございます。

さて、前置きが長くなりましたが、我が家のお梅を紹介します。お梅という名前は、初めて出会った時はとても小さく、また赤いアクセサリーを首輪に付けていたことから、私が直感で「お梅！」と言うと、家族も賛成してくれて、すぐに決まりました。

お梅が我が家に来た時は、私と妻と長男だけでしたが、今では次男と長女がいます。そのため、お梅の中での自分のポジションは上から2番目のように、ゲージから出ると家の中を走り、私の膝の上に飛び乗ってきます。まるで次男と長女に、ここは私の場所といわんばかりに。(笑)

そんなお梅も今年で11歳になります。チワワの平均寿命は12～14歳と言われており、あと何年一緒に過ごせるかわかりません。残された時間を大切に、いっぱい楽しい思い出を作っていくうね！



警防課 森下健太郎

ぼうさい ぱり

今月も、あなたの「防災」の知識や技術を少しアップデートする、栄養の一粒をお届けします。

早速ですが、消防職員をはじめ、事業所や教育現場における防火・防災担当者の皆さんにお聞かせします。防災学習や訓練を効果的に実施するために、どのようにすれば良いか悩んだ事はありませんか?消防職員ですら、火災や救急など、現場活動については意気揚々と話はできるのですが、防災について人前で話をするのはちょっと苦手…こんなひと結構いませんか??

そこで今月は、とても簡単なうえに、みんなの意識改革もしっかり図れる「一日前プロジェクト」を利用した防災学習を紹介します。

事前準備

指導者は、内閣府が立ち上げた「一日前プロジェクト」のホームページから、過去日本で発生した様々な災害の中から、「語り継ぐべき物語」(例:食器棚が倒れてきた物語、トイレの水が流れず困った物語等)を複数選んで手元に準備しておきましょう。準備はこれだけ。

※「語り継ぐべき物語」とは、実際に被災された方々の貴重な体験談の事です。

防災学習の進め方

ステージ1

「災害発生 - 経過時間ごとの状況を考えてみる -」

次のようなタイムラインを作って地震後の自宅などの状況を具体的に話し合い、その中で発生すること、困ることや問題点などの意見をどんどん発表してもらいましょう。さらに、「一日前プロジェクト」ホームページで準備しておいた物語を組み込みながら進めていきましょう。

「巨大地震発生」(例 8:30)

- ・食器棚が倒れる
- ・ガラスが割れる
- ・電車内で緊急地震速報が鳴り響く

「地震発生直後」(例 8:32)

- ・ガラスが散在して歩けない
- ・タンスの下敷きに
- ・恐怖で動けない

「5分後」(例 8:35)

- ・近隣の人が多く外に
- ・スマホが使えない
- ・近所の古い建物が倒壊

「10分後」(例 8:40)

- ・電話がつながらない
- ・たくさんの助けを求める声が
- ・複数の場所で火災が発生

「1時間後」(例 9:30)

- ・道路は渋滞
- ・家族の安否確認が取れない
- ・水が止まらずトイレが流せない

「避難所で夜寝る時」

- ・人が多く寝る場所が確保できない
- ・周りの音やプライバシーが気になる
- ・ベットが入らない

「次の日」

- ・お腹がすいたな
- ・家に戻る許可がでたら何を取りに行こう
- ・トイレが混んで入れない

ステージ2

「タイムリープ - 地震の一日前に戻れたらどうするか考える -」

ステージ1で時間経過ごとの状況を考えたら、「もし地震の一日前に戻れたらあなたは何を準備しておきますか?」とみんなでディスカッションしながら問題提起し、その中で今できることを考えてみましょう。

以上で終了です。

とてもシンプルで簡単ですが、それぞれが本当に準備しておくべき物が見え、大変効果的なディスカッションになると思います。是非やってみて下さい!

今月の「防災用語」

ローリングストック

普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておく方法です。これにより、備蓄用で購入した食料が古くなってしまい無駄になってしまいますことはなくなります。



救急安心センターおおさか だより

マダニ 相談あるある

これからの季節、人込みを避けて自然の中に出かけるという方も多いと思いますが、春から夏というのはマダニの相談が多くなる季節でもあります。マダニの相談に多い共通点、マダニ相談あるあるを確認しておきましょう。

- ① 山や公園に行った…多くの人がマダニに噛まれる前に、山などの自然の豊かなところに出かけています。ただし噛まれても痛みやかゆみがないことが多いのですぐには気づかず、いつどこで付いたのかははっきりしません。
- ② 服を脱いではじめて気づく…噛まれているときに痛みやかゆみがないため、家に帰って服を脱いだタイミングで何か付いていることに気づくことが多いです。
- ③ パッと見て何なのか分からぬ…血を吸った後のマダニは黒い球状の胴体だけが見え、一見何なのか分かりにくいです（上のイラストが血を吸った後のマダニの大きさの目安です）。
- ④ 自分で取ろうとしてマダニの胴体がちぎれ、頭だけ食い込んだまま残った…見えている胴体自分で引っ張っても取れなかったり、無理に取ろうとするとちぎれて頭の部分だけ身体に食い込んで残ったりします。

といったところです。マダニが付いているが他に特に症状はないという場合、自分で取ろうとせずに皮膚科若しくは外科を受診して除去してもらうことをお勧めします。また、マダニが媒介する感染症もありますので、数週間は体調の変化に注意してください。



3月にご退職された河野高度専門教育訓練センター所長。
桜の木の下でパシャッ。
ご勇退おめでとうございます。
いつまでもお元気で！

高圧化学工業株式会社

高圧化学工業株式会社は、1959年に森田高压化学株式会社として大正区鶴町において創業し、1978年に現在の高圧化学工業株式会社に社名を変更され60数年に渡り高圧水素化技術を独自の技術として培われてこられました。また、近年ではフラインケミカル合成技術を新たに加え、電子材料をはじめとする高機能性材料の先端分野まで事業を拡大され、タームリリーに最適なソリューションを提供する受託メーカーとしてご活躍されております。



自衛消防隊紹介

自衛消防隊長
高島 隆志

弊社は「安全最優先」をモットーに、全従業員が一丸となり、万が一の、火災・爆発・南海トラフ地震に備え、定期的な防災訓練を行い、更なる防災意識の向上・体制の強化に努めています。



行事に積極的に参加いたします。令和元年度に実施しました自衛消防協議会技術発表会のポンプ隊の部では優勝されるなど、高い防火・防災意識で取り組まれています。

女性防火クラブだより

北区

成3年に地域振興会女性部を主体に組織され、現在は地域女性団体協議会を中心となり、発足から31年が経ちますが、当初と一緒にして変わらず貫して変わらず、「自分たちの地域は自分たちで守る」というスローガンを掲げ、地域における防火・防災の推進に努めています。

主な活動内容は、地域防災リーダーと合同による防火・防災訓練、普通救命講習の受講、それぞれの地域における防災訓練及び研修等があります。

す。
防火・防災研修等がありま



活動を自粛して思いどおりの活動はできていませんが、基本的な活動・訓練を繰り返し行っていくことで日常の防火・防災のため、またいざというときの被害を最小限に抑えるための近道と考え、今後ともクラブ員全員で力を合わせて活動していくことを願っています。

敏動章（火災現場における救助活動）令和4年3月2日付け

北消防署 2部 北梯子小隊 ・ 消防司令補 玉城 秀樹 ・ 消防士長 平野 修

令和3年12月17日北区の鉄骨鉄筋コンクリート造8階建複合用途建物で発生した火災現場において、出火階4階の窓からは火炎及び濃煙が噴出し、6階の窓より身を乗り出し助けを求める要救助者に対して、救助を待つ室内からも黒煙が噴出する非常に緊迫した状況下で、北高所活動小隊と連携して、要救助者の位置、状況、車両の諸元・性能を的確に判断し、活動方針を決定、機関員は冷静沈着に操作を行い、また小隊長の的確な先端誘導により最短距離で梯体を6階部分に架梯した。小隊長は、室内が煙で充満し恐怖に慄く要救助者の女性に励ましの声かけを実施するとともに、冷静に他に逃げ遅がないのか、負傷はないのかを確認し、落ち着かせた後に救出活動を開始した。窓が狭く進入が不可能と判断した小隊長は、梯体に確保ロープを設定した安全帯を要救助者に手渡し腰に巻くように指示するとともに、安全帯がしっかりと設定できているかを確認後、窓枠に上がるよう指示して、リフターで上昇してきた本部特別高度救助隊員と協力し要救助者を安全にリフターへ収容し地上へ救出した功績による。

北消防署 2部 北高所活動小隊 ・ 消防司令補 榎木 五男 ・ 消防士長 田中 康博

令和3年12月17日北区の鉄骨鉄筋コンクリート造8階建複合用途建物で発生した火災現場において、出火階4階の窓からは火炎及び濃煙が噴出し、6階の窓より身を乗り出し助けを求める要救助者に対して、救助を待つ室内からも黒煙が噴出する非常に緊迫した状況下で、北梯子小隊と連携して、要救助者の位置、状況、車両の諸元・性能を的確に判断し、活動方針を決定、その後迅速に救出活動を開始し、架梯準備をするとともに援護注水への切り替えも考慮し、中継送水を要請。架梯準備完了後、バスケット内での操作にて6階へ架梯するも、停車位置の状況等により届かないと判断し、瞬時に援護注水に切り替え、北梯子小隊へ無線にて救出活動を依頼、北梯子小隊がリフターにて地上に救出するまでの間、要救助者を濃煙・熱気から防ぎよし、救出活動に貢献した功績による。



※令和4年3月2日付けの他の功績表彰は、次号に掲載します。

最前線のひと声

この前、自宅付近で消防車が出場した現場があり、私が所有している駐車場の敷地に、消防車両や資器材を置いて、勝手に使用していました。

火災などの緊急時は仕方がないんですけど、今回は窓枠が外れそうという通報で消防車が駆け付けていました。緊急を要する現場ではないのに、駐車場を無断で使用することは許されるのでしょうか。使用する際は、一声かけていただきたいです。

私たちが市民の皆さまの安心・安全を目的に行う現場活動。法令に基づくものもあれば、たしかに、市民の皆さまのご協力をいただいていることが多いですね。ご意見のほかにも、隣接建物・隣室からの災害点への進入や玄関ドアの破壊など。当たり前のことのように活動していませんか？活動にご協力いただく物件の所有者や住人の方、付近の方などへの丁寧な説明を心がけましょう。



『なんやねん、パソコン～』



時間無いのに、何でこんななるねん…



うわ、コレってめちゃくちゃ効率わるいやん…

このコーナーでは、パソコンを利用中によく感じるけど、人に聞くほどでもない、または、忙しいからじっくり調べられないなどの内容を簡単に解決します(Windows限定)。

第10回

「Excelでセルに文字など入力するけど、大概そのままEnterキー押すやん。そしたらそのまま下にしか移動せへんやん。これって横移動できへんのん？」



◆入力していく、次打ちたいところが、いま入力しているセルの横やねん！って時、Enterキーそのまま押してしまうと下に移動するし。

マウスに持ち替えて、また入力したい

セルを選んで入力作業せなあかんし。

これ絶対便利なキーあるやろ～。。。

キーボード上でセルを移動させたくありませんか？！

氏名	年齢	所属	保有免許	取得日時	失效期限	備考
広報 太郎	32	東京支所				
広報 次郎	28	大阪本店				

←次こっち入力したいのに～
←Enterキーでこっちきてしまう～

↓ こうやつたら、解決します!! ↓



◎便利なキーは「Tabキー」です。

このキーによってセルの選択カーソル（アクティブセル）を右へ横移動できます。



氏名	年齢	所属	保有免許	取得日時	失效期限	備考
広報 太郎	32	東京支所				
広報 次郎	28	大阪本店				

◎ちなみに「Shiftキー+Tabキー」でアクティブセルは左へ横移動となります。



氏名	年齢	所属	保有免許	取得日時	失效期限	備考
広報 太郎	32	東京支所				
広報 次郎	28	大阪本店				



余談ですが、「Shiftキー+Enterキー」でアクティブセルは上へ移動できます。

イッパツ解決☆あの時間何やつたん(*^-^*)

おっしゃ、これで早なるわ(・▽・)





◆◆◆ だれでもできる こころのケア ◆◆◆

新型コロナ感染症の影響で、自分を取り巻く環境が一変し、誰もが感じている「コロナ疲れ」。積み重なった不安や疲れにまいってしまわないよう、セルフケアしながら、心の元気を保ちましょう。心の健康づくりを推進する厚生労働省は「内面のストレスに気づいて、自発的に対処し、予防にあたること」を推奨しています。

セルフケア1 上手に手放す

これから的生活を悲観したり、あらゆるもの抱え込んでいませんか？
手放し上手になって、そこから一步踏み出しましょう。

過去に固執しない

今の環境・今の自分にできることは何か、上手に置き換えられないか考えてみましょう。



情報の取捨選択を

情報の中には不安をあおるものや、真実でないものが多く、一喜一憂しないで、プラスになる情報は取り入れ、あとは手放しましょう。

自分の中に抱え込まない

人と話することで、気持ちの整理ができ 次にどうすればよいか見えてきます。

セルフケア2 行動で気持ちを動かす

自分の気持ちにプラスになる行動を見つけてください。不安や憂鬱など、ネガティブな気持ちにつながっている場合は、その行動を減らしたり、別の行動に置き換えてみましょう。

セルフケア3 自分に優しくなる

大切な人が苦しんでいる時に手を差し伸べるように、慈しみの心を自分に向けてください。温かい言葉を自分にかけてみましょう。上手くいかない自分を責めることなく、受容し、思いやりの気持ちで接することで、前をむくことができます。

高圧ガスの移動について

予防部規制課（保安担当）

大阪市消防局では、平成25年4月に大阪府から権限移譲を受けて、高圧ガス保安法に関する事務を開始してから今年で10年目を迎えます。全国的には、平成30年4月、同法に関する事務が道府県から指定都市（消防では、一般に「政令市」という。）に法定移譲されたことは、記憶に新しいのではないでしょうか。

さて、今回は、街中でも見かける「高圧ガスローリー^{※1}」や「バラ積みトラック^{※2}」などの車両による「高圧ガスの移動」について、危険物規制との違いも交え、紹介していきます。

^{※1}「高圧ガスローリー」とは、高圧ガスをタンクローリー等の車両に固定した容器で輸送する車両のことをいう。

^{※2}「バラ積みトラック」とは、高圧ガス容器をトラック等の車両に積載して輸送する車両のことをいう。

1 高圧ガスの「移動」とは

まず初めに、高圧ガスの移動？輸送？移送？運搬？と疑問に思われた方もおられるのではないかでしょうか。高圧ガス保安法においては、高圧ガスローリーなどで高圧ガスを輸送することを「移動する」といいます。

2 高圧ガスの移動について

（1）高圧ガスローリー

高圧ガスローリーを使用した高圧ガスの移動には、高圧ガス保安法で定められた「移動に係る基準」の遵守が必要となります。

この「移動に係る基準」には、警戒標の掲出、容器の温度上昇防止措置、容器等の損傷を防止するための措置（高さ検知棒、バンパーの設置）、消火設備や応急措置資材等の携行（ガス種に応じて）などがあります。

また、高圧ガスローリーには、高圧ガスをガススタンド等の施設に荷卸しする際、ガスを送り出すためのポンプ（製造設備）を装備したものがあり、これは法令上「移動式製造設備」と定義され、「移動に係る基準」に加え、「製造に係る基準」も遵守する必要があります。

こぼれ話①

消防法では、移動タンク貯蔵所（以下「危険物ローリー」という。）で危険物を輸送することを「移送」、トラック等で容器に入れた危険物を輸送することを「運搬」といいます。

こぼれ話②

危険物ローリーでは、危険物の積載部分を「タンク」と呼びますが、高圧ガスローリーでは、同部分を「容器」と呼びます。

^{※3}「製造」とは、圧力変化や状態変化によって、高圧ガス（圧縮ガス1.0MPa以上、液化ガス0.2MPa以上）を作り出すことをいいます。例えば、各消防署に配備されたSRや空気充填機でのポンベ充填も高圧ガスの製造に該当します。

高圧ガスローリーによる移動

「移動に係る基準」

- ・警戒標の掲出
- ・容器等の損傷を防止するための措置（高さ検知棒、バンパーの設置）
- ・容器の温度上昇防止措置
- ・消火設備、応急措置資材等の携行（ガス種に応じて）など

①製造設備を装備したもの



※製造に係る基準も適応される

②製造設備を装備していないもの



(2) バラ積みトラック

バラ積みトラックについては、高圧ガス保安法に係る許可や届出は必要ありません。しかし、警戒標の掲出、容器の転落転倒及び温度上昇防止措置、消火設備の携行（ガスの種類に応じて）等の「移動に係る基準」を遵守する必要があります。

こぼれ話③

消防車等、緊急事態で空気ボンベや酸素ボンベの高圧ガス容器を積載して移動する車両は、「警戒標の掲出」については、法令上、適用除外とされています。

バラ積みトラックによる移動



3 高圧ガスローリーと危険物ローリーの違いについて

高圧ガスローリーと危険物ローリーでは、規制している法律が異なるため、構造にあっても異なっている点が数多くあります。これらのローリーの違いが一目でわかるものとして次のものが挙げられます。

	高圧ガスローリー	危険物ローリー
外観	<ul style="list-style-type: none"> ○ 容器の形状 全て円筒型（円筒型は、内圧によって容器にかかる応力が均一にかかり、耐久力が強い構造である。） ○ 容器の外面に必要な明示 <ul style="list-style-type: none"> ・「高圧ガスの名称」 ・可燃性ガスの場合は「燃」 ・毒性ガスの場合は「毒」 ○ 容器の色（酸素＝黒、二酸化炭素＝緑、等） 	<ul style="list-style-type: none"> ○ タンクの形状 円筒型又はだ円型（重心位置を低くして、転倒を防止するため、だ円型のタンクが多い。） ○ 附属装置の損傷を防止するための装置 <ul style="list-style-type: none"> ・「側面枠」（転倒した際の転覆防止） ・「防護枠」（転覆した際のタンク上部にあるマンホール等の損傷防止） 
標識	車両の前後の見やすい位置に「高圧ガス」の警戒標 	車両の前後の見やすい位置に「危」の標識 
必要な資格	<ul style="list-style-type: none"> ○ 特殊高圧ガス、若しくは一定量以上の可燃性ガス、毒性ガス又は酸素を移動する場合は、化学責任者（甲、乙又は丙種）、機械責任者（甲又は丙種）又は移動監視者 ○ それ以外のガスを移動する場合は、必要なし 	<p>危険物取扱者（甲、乙又は丙種）</p> <p> ▶ 乙種は、免状に記載されている種類の危険物に限る。 ▶ 丙種は、第4類のうち、ガソリン、灯油、軽油、第3石油類（重油、潤滑油及び引火点130度以上のものに限る。）第4石油類、動植物油類に限る。 </p>

4 最後に

高圧ガスの移動について、理解できましたか？街中で高圧ガスローリー等を見かけた際は、この誌面を思い出し、車両に備えられた設備や危険物ローリーとの違いなどをチェックしてみましょう！

九条みなみ

昇任試験問題研究所

Vol.24



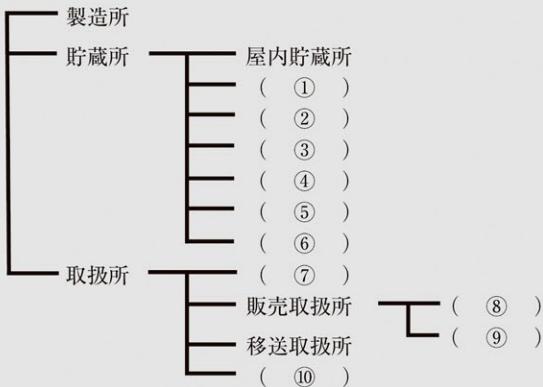
ここは、大阪市内某所にある研究施設。日々、大阪市消防局の昇任試験問題の研究が行われている。主席研究員「九条みなみ」は、今日も後輩研究員たちの指導に余念がないのだった…。

第24話 ~平均点アップ大作戦②~

みなみ：さあ、今回は「危険物」よ。「なんとなく難しい…」なんて昇任試験の勉強で敬遠しがちな「危険物」だけど、全然そんなことはないの。しっかりと基礎固めをすることで確実に点を取れるわ♥それじゃあ、始めるわよ!! まずは、基本中の基本ね。

第1問

危険物の規制に関する政令に規定する製造所、貯蔵所及び取扱所について、次の(①)～(⑩)にあてはまる区分を解答欄に記入してください。(10点)



① 屋外貯蔵所	② 屋内貯蔵所	③ 地下貯蔵所	④ 開放式貯蔵所	⑤ 深層式貯蔵所
屋外貯蔵所	屋内貯蔵所	地下貯蔵所	開放式貯蔵所	深層式貯蔵所
屋外貯蔵所	屋内貯蔵所	地下貯蔵所	開放式貯蔵所	深層式貯蔵所
屋外貯蔵所	屋内貯蔵所	地下貯蔵所	開放式貯蔵所	深層式貯蔵所
屋外貯蔵所	屋内貯蔵所	地下貯蔵所	開放式貯蔵所	深層式貯蔵所

【解答】(各1点) ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩順不同、②⑩順不同、⑧⑨順不同

みなみ：次の2問も実際に出題された問題よ。

第2問

消防法別表第1に規定する「危険物の性状」に関する記述について、次の(①)～(⑤)にあてはまる適切な語句を解答欄に記入してください。(10点)

- (1) 酸化性固体とは、固体であって、酸化力の(①)を判断するための政令で定める試験において政令で定める性状を示すもの又は衝撃に対する(②)を判断するための政令で定める試験において政令で定める性状を示すものであることをいう。
- (2) 自然発火性物質及び禁水性物質とは、固体又は液体であって、空気中での(③)を判断するための政令で定める試験において政令で定める性状を示すもの又は水と接触して発火し、若しくは(④)を発生する危険性を判断するための政令で定める試験において政令で定める性状を示すものであることをいう。
- (3) 自己反応性物質とは、固体又は液体であって、(⑤)を判断するための政令で定める試験において政令で定める性状を示すもの又は加熱分解の激しさを判断するための政令で定める試験において政令で定める性状を示すものであることをいう。

① 潜在的活性質	② 可燃性	③ 爆発性
潜在的活性質	可燃性	爆発性
潜在的活性質	可燃性	爆発性

【解答】(各2点)

第3問

消防法別表第1に規定する第4類「引火性液体」について、次の表の空欄にあてはまる適切な語句を解答欄に記入してください。（10点）

類別	性質	品名
第4類	引火性液体	1 (①)
		2 (②)
		3 (③)
		4 (④)
		5 第三石油類
		6 第四石油類
		7 (⑤)

① 特殊引火性物	② 第一亜限類	③ 第二亜限類	④ 第三亜限類	⑤ 第四亜限類
----------	---------	---------	---------	---------

【解答】（各2点）

みなみ：どう？消防法別表第1の穴埋め問題等、意外と基本的な問題が出題されていることが多いのよ。危険物の性状に関する問題も出題頻度が高いわ。ラストは消防法第10条に規定する「危険物の貯蔵・取扱いの制限等」に関する問題よ。

第4問

消防法第10条に規定する「危険物の貯蔵・取扱いの制限等」に関する記述について、次の（①）～（⑤）にあてはまる適切な語句を解答欄に記入してください。（10点）

第10条（①）以上の危険物は、貯蔵所（車両に固定されたタンクにおいて危険物を貯蔵し、又は取り扱う貯蔵所（以下「移動タンク貯蔵所」という。）を含む。以下同じ。）以外の場所でこれを貯蔵し、又は製造所、貯蔵所及び（②）以外の場所でこれを取り扱ってはならない。ただし、所轄消防長又は（③）の（④）を受けて（①）以上の危険物を（⑤）日以内の期間、仮に貯蔵し、又は取り扱う場合は、この限りでない。

① 指定収容量	② 取扱所	③ 消防署長
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨

【解答】（各2点）

みなみ：危険物を貯蔵している量や取り扱っている量を指定数量で割ったものが指定数量の倍数と言ったんだったわよね。指定数量以上の危険物の貯蔵又は取扱いは消防法による規制を受け、指定数量未満の危険物の貯蔵又は取扱いは、大阪市火災予防条例による規制を受けることになるわ♥



基本事項をしっかりと確認し直すだけで得点アップにつながる「危険物」。予防部規制課が配信している「危険物知つて納得etc」には、危険物にまつわる情報や豆知識が掲載されていて試験勉強にも役立つわよ。

「キセイカ☆ナビ」には、危険物に限らず高圧ガスや建築・設備等の関連通知や技術基準の解説、審査時のポイント等、規制業務全般に関する情報が掲載されているわ。法令集とにらめっこするだけじゃなく日々の業務に直結させて覚えていくことが重要よ！(^^\)！

それじゃあ今回はここまで。
次回は第4類危険物（引火性液体）の指定数量に関する問題を研究するわ♥

危険物知つて納得etc



局長メッセージ

皆さん、こんにちは。局長の小西です。

さあ、風薫る5月。さわやかな風が頬に心地よい季節ですね。

さて、先月は4月1日付で新規採用の職員に辞令を交付しました。希望に胸を膨らませた76名の皆さんの中から、消防人生がスタートしたわけですが、そのうち73名の方は、まずは、初任教育生として大阪府立消防学校での6か月間に及ぶ教育訓練に励んでいただき、消防職員としての基礎となる規律や活動をしっかりと学ぶとともに、必要な知識と技術、必要な体力と気力を身につけていただきたいと思います。おそらくは、今まで経験したことのない厳しい訓練で辛いと感じることもあるでしょうが、同期生全員で互いに励まし合い助け合いながら切磋琢磨し、一人前の消防士へと成長してほしいと思います。

一方で、私が辞令を交付した皆さんは大阪市消防局という組織の一員になったわけです。それぞれが消防に対する憧れや抱いている職業観、個人的なイメージは、勿論、尊重されるべきですし、モチベーションの維持・アップのためにも必要なものですが、消防局では、火災や交通事故、救急事案等への対応だけではなく、市民が安心して暮らせる「災害に強いまち・安全な都市」をめざして様々な仕事をしています。今月号では令和4年度の消防局運営方針について掲載されていますが、運営方針は、皆さんのが働くこととなる消防局の目標像や使命、経営課題とともに課題解決のための事業戦略と具体的な取組を記載したものですので、しっかりと理解し、市民の皆さんに伝えることのできる職員になってください。

将来の大阪市消防局を背負っていく皆さんに期待しています。

2022年5月

編集後記



SNSやってます



表紙のウラ側

今月号の表紙は、淀川消防署に配備されている救助工作車IV型です。

4月上旬、淀川消防署で撮影しました。

ご協力いただいた淀川CRのみなさん、ありがとうございました！

大阪消防誌5月号をお読みいただきありがとうございます。

4月から新年度が始まり1か月。みなさんの身の回りでも、さまざまな環境の変化が訪れていることだと思います。出逢いや別れ、一年の中で一番、人のことについて考える時期のような気がします。疲れが出やすい時期もありますので、くれぐれも無理をせず、体調に気をつけてくださいね。

さて、大阪消防編集部では、4月より2名の新メンバーを迎えることとなりました。毛利さんと東さんです。引き続き大阪消防を盛り上げていきたいと思いますので、みなさまぜひ編集部にお気軽にお声がけください。

最後になりましたが、5月号に寄稿していただいた皆様、ご協力ありがとうございました。
(A)

大阪消防

令和4年5月号 第73巻第5号 通巻第866号

発行 大阪消防清風会

企画・監修 大阪市消防局

年間購読料 年間5,280円
(消費税・送本手数料含む)

制作・販売 株式会社サイネックス

編集 大阪市消防局企画部企画課内大阪消防編集部

〒550-8566 大阪市西区九条南1-12-54

T E L 06-4393-6036

F A X 06-4393-5120

Eメール pa0110@city.osaka.lg.jp

※本誌に掲載されている内容の転載、転用を希望される時は、編集部までご連絡ください。

火災警報器は

10年交換や

定期的に
点検して



おいでやす小田

住宅用火災警報器は
定期的に点検し、10年を目安に交換してください

大阪府下消防長会

吉本興業

協賛:(一社)大阪市防火管理協会・(一財)大阪消防振興協会

住宅用火災警報器のお問い合わせは
最寄りの消防本部・消防署まで



住宅用火災警報器
ムービー公開中!



サクラの消防・救助資機材



【救助用支柱器具】
レスキュー
サポート
システム



【マット型空気ジャッキ】
マキシ
フォース
G2



【空気切断機】
パラテック
空気工具



【PPV用送排風機】
テンペスト
ブロアー

桜ホース株式会社

〒530-0054
大阪市北区南森町 1-2-25 南森町ISビル5階

TEL 06-6360-1020
FAX 06-6360-1040

大阪消防 年間購読料 お支払い方法ご案内

いつも「大阪消防」をご愛読いただきありがとうございます。ご覧いただいております「大阪消防」は、(株)サイネックスが制作を担当して皆様にお届けいたしております。

年間購読料のお支払い方法は、サイネックスの回収業務提携先の「SMBCファイナンスサービス(株)」より、後日お支払いに関するご案内(請求書/コンビニ・金融機関振込用紙付)が郵送されますので、ご確認を賜り同封の振込用紙にてご送金の程お願い申し上げます。

なお「大阪消防」は、お客様からの購読中止のご連絡があるまで、自動的に購読を継続させていただいております。新規購読のお申込み、ならびに購読中止のお申し出は、大阪消防編集部までご連絡ください。

※見積書等、必要とされます方は大阪消防編集部まで、ご連絡ください。

大阪消防編集部(06-4393-6036)

